

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団

目 次

事業報告書

I	はじめに	5
1	評議員会・理事会等	6
(1)	評議員会	6
(2)	理事会	6
(3)	評議員選任・解任委員会	7
(4)	役員等名簿	8
2	神奈川県との協定について	9
3	委員会・協議会	9
4	運営組織	10
5	職員	11
II	事業の実施状況	12
1	福祉事業	12
(1)	福祉施設利用状況	16
(2)	地域福祉支援事業の状況	16
(3)	入退所審査会の開催状況	16
(4)	在所児(者)の状況	17
(5)	退所児(者)の状況	18
(6)	施設別苦情受付件数	19
(7)	利用者満足度調査	19
(8)	各福祉施設における特徴的な利用者支援	20
(9)	各福祉施設におけるリハビリテーション・支援の状況	21
2	病院事業	23
(1)	病院利用状況	23
(2)	入院及び外来患者の状況	24
(3)	科別手術の状況	25
(4)	紹介・逆紹介件数実績	25
(5)	セカンドオピニオン実績	25
(6)	退院患者の状況	26
(7)	地域別入院患者の状況	27
(8)	薬剤業務の状況	28
(9)	検査業務の状況	29
(10)	放射線業務の状況	30
(11)	給食業務の状況	31
(12)	理学療法の状況	32
(13)	作業療法の状況	32

(14) 言語訓練の状況	-----	32
(15) 心理検査等の状況	-----	33
(16) 職能訓練の状況	-----	33
(17) 体育指導の状況	-----	34
(18) リハビリテーション工学の状況	-----	34
(19) 相談の状況	-----	35
(20) 地域連携室の状況	-----	36
3 リハビリテーション研究事業	-----	37
(1) リハビリテーションに関する調査、研究・開発	-----	37
(2) 神奈川リハビリテーション病院倫理委員会の研究テーマ	-----	37
(3) 情報提供・情報発信	-----	39
(4) 研究発表会	-----	40
(5) かながわりハビリロボットクリニック	-----	41
(6) さがみロボット産業特区等への協力	-----	42
(7) 障害者スポーツの支援	-----	42
4 地域リハビリテーション支援センター事業	-----	45
(1) リハビリテーション専門研修	-----	45
(2) 地域リハビリテーション支援関連活動	-----	46
(3) 神奈川県リハビリテーション支援センター事業（県委託事業）	-----	46
(4) 高次脳機能障害支援普及事業	-----	48
5 厚木看護専門学校事業	-----	52
(1) 在籍者の状況	-----	52
(2) 卒業生の就職等の状況	-----	53
(3) 応募者の状況	-----	53
6 地域の保健・医療・福祉への支援事業	-----	54
7 職員確保対策事業	-----	56
(1) 職員充足状況	-----	56
(2) 学資金等の貸付事業の状況	-----	56
(3) こども園保育状況	-----	56
8 職員福利厚生事業	-----	57
(1) 職員宿舎入居状況	-----	57
(2) 健康診断実施状況	-----	57
(3) 貸付事業の状況	-----	57
9 経営計画に基づく取組状況	-----	58
■ 令和2年度事業計画の数値目標と実績	-----	59
事業報告書の附属明細書	-----	60

I はじめに

わが国では、少子高齢化が急速に進行する中、働き方や地域社会のあり方の変容などの生活を巡る状況は大きく変化し、こうした状況の変化に伴って数々の社会保障制度の改革が実施されてきた。

特に令和2年度においては、全世界で新型コロナウイルス感染症が広がり、わが国でも緊急事態宣言が発出されるなど、前例にない様々な対策がこれまでにない規模で実施されてきた。

神奈川県は、そのような状況下で国の方針を踏まえて、感染拡大への対応として、県民に外出の自粛を強く要請するとともに、多くの人々が利用する施設の使用を制限した。特に医療崩壊を防ぐことを目的として、患者の症状の程度に応じた医療を提供する「神奈川モデル」と呼ばれる独自の医療提供体制を構築した。

事業団は、患者・利用者の安心安全を念頭に感染防止対策を講じ、感染状況の変化を見極めながら事業運営に取り組んだ。今後は、感染症の収束が未だ見通せない状況ではあるが、医療従事者をはじめ、高齢者等のワクチン接種が進められていく中、状況の変化を見極めながら、事業計画の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

1 評議員会・理事会等

(1) 評議員会

令和2年度は、評議員会を1回開催し、下記について審議・報告し、議決結果は次のとおりである。

開催年月日	議 題	議決結果	開催場所	
第1回 令和2年 7月10日	第1号議案	令和元年度社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団の決算について	可決	神奈川県 中小企業 センター ビル
	報告事項1	令和元年度社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団の事業報告について		
	報告事項2	新型コロナウイルスへの事業団の対応について		
	報告事項3	厚木看護専門学校の試験答案の所在不明について		

(2) 理事会

令和2年度は、理事会を4回開催し、下記について審議・報告し、議決結果は次のとおりである。

開催年月日	議 題	議決結果	開催場所	
第1回 令和2年 6月9日	第1号議案	令和元年度社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団事業報告及び決算報告書の承認について	可決	書面決議
	第2号議案	決議の省略による定時評議員会の開催について		
第2回 令和2年 6月23日	第1号議案	定時評議員会招集の決議について	可決	リハセンター 会議室
第3回 令和2年 11月26日	第1号議案	新評議員候補者の承認について	可決	リハセンター 会議室
	報告事項1	令和2年4月から令和2年9月までの理事長及び専務理事の職務執行状況報告について		
	報告事項2	新型コロナウイルス感染症対策に係る国等の支援事業への申請状況		
	報告事項3	神奈川県の監査の実施状況		

開催年月日	議 題		議決結果	開催場所
第 4 回 令和 3 年 3 月 26 日	第 1 号議案	令和 2 年度社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団予算の補正について	可決	WEB 会議
	第 2 号議案	令和 3 年度社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団事業計画及び予算について	可決	
	第 3 号議案	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団組織及び職制規程等の一部改正について	可決	
	第 4 号議案	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団職務権限規程の一部改正について	可決	
	第 5 号議案	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団給与規程の一部改正について	可決	
	第 6 号議案	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団臨時業務貢献手当に関する規程の制定について	可決	
	第 7 号議案	社会福祉施設苦情解決委員の選任について	可決	
	第 8 号議案	役員賠償責任保険契約の締結について	可決	
	報告事項 1	評議員選任・解任委員会の開催状況について		
	報告事項 2	神奈川県の監査の実施状況について		
報告事項 3	障害者福祉施設従事者等による障害者虐待防止について			

(3) 評議員選任・解任委員会

令和 2 年度は、評議員選任・解任委員会を 1 回開催し、評議員 1 名が選任された。

開催年月日	議 案		議決結果	開催場所
第 1 回 令和 2 年 12 月 9 日	議 案	評議員の選任について	可決	フ°ロミティ あつぎ

(4) 役員等名簿

(令和3年3月31日現在)

役職	氏名	現任期間
理事長	富田 輝司	R1. 6. 25からR3. 6定時評議員会開催日まで
専務理事	神山 光義	R1. 6. 25からR3. 6定時評議員会開催日まで
理事	笹生 正人	R1. 6. 25からR3. 6定時評議員会開催日まで
〃	篠原 正治	R1. 6. 25からR3. 6定時評議員会開催日まで
〃	杉山 肇	R1. 6. 25からR3. 6定時評議員会開催日まで
〃	村井 政夫	R1. 6. 25からR3. 6定時評議員会開催日まで

	氏名	現任期間
評議員	石黒 敬史	H29. 4. 1からR3. 6定時評議委員会終結時まで
〃	加藤 隆	H30. 6. 18からR3. 6定時評議委員会終結時まで
〃	川島 志保	H29. 4. 1からR3. 6定時評議委員会終結時まで
〃	竹村 克二	R1. 9. 11からR3. 6定時評議委員会終結時まで
〃	玉垣 努	H29. 4. 1からR3. 6定時評議委員会終結時まで
〃	内藤 則義	R2. 12. 9からR3. 6定時評議委員会終結時まで
〃	山下 巖	H29. 4. 1からR3. 6定時評議委員会終結時まで

役職	氏名	現任期間
監事	小川 喜道	R1. 6. 25からR3. 6定時評議員会開催日まで
〃	野中 茂	R1. 6. 25からR3. 6定時評議員会開催日まで

会計監査人	奥津 勉	(奥津公認会計士共同事務所)
-------	------	----------------

※評議員、理事及び監事は五十音順である。

2 神奈川県との協定について

(1) 神奈川県総合リハビリテーションセンターの管理に関する協定

事業団は、平成 28 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで、神奈川県総合リハビリテーションセンターの指定管理者として指定されている。

指定管理業務の運営にあたっては、神奈川県総合リハビリテーションセンター条例第 4 条の規定により、神奈川県総合リハビリテーションセンターの指定管理業務について神奈川県と事業団で基本協定を締結し、必要な事項（協定の目的、管理物件、協定期間、業務範囲、事業計画等の策定等）を定め業務を運営している。

また、基本協定に定めるものの他、年度ごとに定める必要がある事項（指定管理料の支払い方法等）については、年度協定書を締結している。

3 委員会・協議会

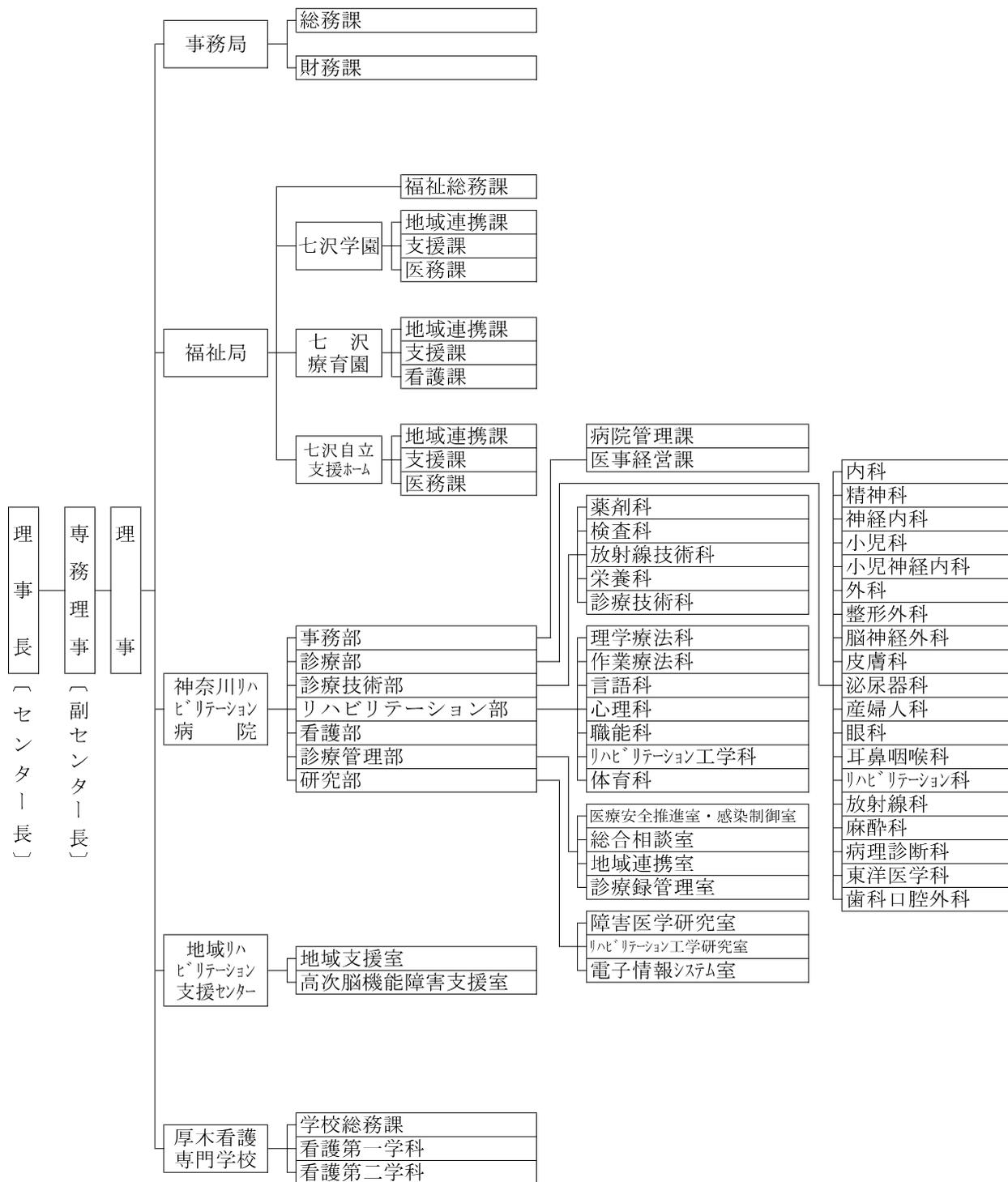
(1) 個人情報保護委員会

区分	開催年月日	議題等
令和2年度	令和3年2月24日	1. 報告事項 (1) 令和2年分個人情報開示請求状況について (令和2年1月1日から令和2年12月31日現在)

(2) 厚木看護専門学校運営協議会

区分	開催年月日	報告事項
第23回	令和3年3月16日	1. 厚木看護専門学校の現状について 2. 自己点検、自己評価、学生確保対策の取組みについて 3. その他

4 運営組織（令和3年3月31日現在）



5 職 員

令和3年3月31日の職員数は次のとおりである。

(単位 人)

施設名	職 種	医 師	看護職員	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	そ の 他 医 療 職 員	指 導 員	そ の 他 職 員	計
役 員		2	0	0	0	0	0	2	4
事 務 局		0	0	0	0	0	0	15	15
七 沢 学 園		0	2	0	0	0	62	2	66
七 沢 療 育 園		1	22	1	0	0	24	2	50
七沢自立支援ホーム		1	5	2	2	1	38	2	51
神 奈 川 リ ハ 病 院		33	222	56	31	49	26	54	471
地域リハ支援センター		0	0	2	1	0	1	0	4
厚 木 看 護 専 門 学 校		0	0	0	0	0	0	32	32
計		37	251	61	34	50	151	109	693

注1 その他医療職員とは、薬剤師、臨床検査技師、聴能検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士、針灸療法士、義肢装具士及び視能訓練士をいう。

2 指導員とは、児童指導員、生活支援員、視覚障害者支援員、職業指導員、体育指導員、ソーシャルワーカー及び心理判定員をいう。

3 その他職員とは、理事、事務職員、工学技術員、診療情報管理士、専任教員、研究員、看護助手及び保育士をいう。

II 事業の実施状況

1 福祉事業

七沢学園（福祉型障害児入所施設・障害者支援施設）

七沢学園は、知的障害児を対象にした福祉型障害児入所施設と、成人を対象とした障害者支援施設との複合施設である。

福祉型障害児入所施設では、虐待やその傾向にあるケースと自閉症など広汎性発達障害や ADHD（注意欠陥多動性障害）等を伴うケースの利用が依然として際立っている。令和 2 年度の利用者数は、入所が 7 人、退所が 9 人、一日平均入所者数は 26.3 人で、一日平均入所率は 87.5% であった。

また、虐待等の措置入所のほか、短期間（1 ヶ月～6 ヶ月）の施設入所を通して、ADL の評価や改善、集団生活での行動観察や評価、家族のレスパイト等の課題を絞り込んで利用する「集中療育」を実施しており、令和 2 年度は入所定員 30 名のうち 2 名枠を設けて、利用者実人数は 4 名であった。

障害者支援施設の施設入所支援の利用状況は、入所が 6 人、退所が 5 人、一日平均入所者数は 29.5 人で、一日平均入所率は 98.4% であった。日中活動支援の生活介護においては、強度行動障害者や医療ケアを必要とする利用者の健康維持を基本に機能や発達レベルに応じ機能維持訓練や軽作業、歩行訓練も行っており、一日平均利用者数は 18.0 人、一日平均利用率は 95.0% であった。

自立訓練（生活訓練）においては、利用者各々に合った個別作業を主とした支援を行っており、一日平均利用者数は 15.4 人、一日平均利用率は 90.8% であった。

地域福祉支援事業では、電話や来園による相談支援を延べ 343 人、知的障害児通所機関巡回指導は 0 回であった。

児童施設・成人施設ともに実施している短期入所事業では、家族の休養だけでなく、冠婚葬祭や疾病・出産の緊急対応、不登校・引きこもり対応などの社会的理由、また社会性拡大を目的とした施設体験などの支援も行うこととしている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い利用制限を行った為、児童利用者実人数 0 人、延べ人数 0 人、成人利用者実人数 12 人、延べ人数 169 人の受け入れとなった。その他、児童福祉法第 33 条に基づく緊急一時保護による入所の受け入れは実人数 12 人、延べ人数 102 人であった。

地域の知的障害者やグループホーム等へ地域移行した退所者及び短期入所のうち生活介護の受給者証を所持する者を対象として日中活動支援（通所訓練）を提供した。実人数 30 人、延べ人数 184 人を受け入れた。

なお、令和 2 年 12 月 10 日に、支援員が利用者のおでこをグーの手で擦るという障害者虐待が発生した。援護地の市町村より虐待認定を受け、令和 3 年 3 月 25 日に第三者委員を含めた検証委員会にて作成した報告書及び「虐待防止改善計画書」を提出して、現在再発防止に取り組んでいる。

七沢療育園（医療型障害児入所施設・障害者支援施設）

七沢療育園では重度の知的障害と肢体不自由を併せ持つ重症心身障害児者に医療や看護の提供と療育及び日常生活の支援を行うとともに、在宅生活者に短期入所事業を提供した。

令和 2 年度の入所事業は 5 人を受け入れ、6 人が退所した。また、一日平均入所者数は 35.0 人で、

一日平均入所率は 89.8%であった。

地域福祉支援事業の内、短期入所事業では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い短期利用者の利用制限を行った為、在宅の重症心身障害児者の家族等の疾病や休養目的などで実人数 39 人に対し延べ 429 人の短期入所となった。

「在宅重症心身障害児（者）療育訪問指導事業」は延べ 7 人に実施した。なお、神奈川リハビリテーション病院（以下「神奈川リハ病院」という。）の小児科医師が中心となり他診療科医師の協力を得ながら看護師と共に日常的に医療ケアが必要である超・準超重症心身障害児者の受入れを行った。今年度の超・準超重症心身障害児者の受入れ実人数は 27 人である。

七沢自立支援ホーム（障害者支援施設）

七沢自立支援ホームは、肢体不自由者及び中途視覚障害者の支援施設として一体的に運営している。

肢体不自由者については、神奈川リハ病院と連携して、身体機能の回復・改善、職業能力・社会生活力の向上に必要な支援を行い、社会参加、家庭復帰が円滑に行えるように努めた。令和 2 年度の施設入所支援の利用者数は、入所が 33 人、退所が 42 人、一日平均入所者数 31.8 人で、一日平均入所率は 79.4%、また、日中活動支援の自立訓練（機能訓練）は一日平均利用者数が 31.9 人、一日平均利用率は 76.0%であった。

一方、中途視覚障害者に対しては、社会生活力の向上を目指して、歩行能力の回復、点字の読み書き習得、情報機器の活用、身辺管理・家事動作技術の習得、ロービジョン評価・訓練、視覚障害者スポーツなど地域での在宅生活に向けての支援を行った。令和 2 年度の施設入所支援の利用者数は、入所が 12 人、退所が 6 人、一日平均入所者数 5.0 人で、一日平均入所率は 49.6%、また日中活動支援の自立訓練（機能訓練）は一日平均利用者数が 7.9 人、一日平均利用率は 44.0%であった。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為に、外出・外泊制限を実施したことで、利用辞退・訓練休止・早期終了を希望される方が出た。その結果、七沢自立支援ホーム全体としては、施設入所支援の一日平均入所者数は 36.7 人で、一日平均入所率は 73.4%、日中支援活動（自立訓練）の一日平均利用者数は 39.8 人で、一日平均利用率は 66.4%であった。

地域福祉支援事業では地域における障害者や退所後の利用者等に通所訓練を実施し、実人数 31 人、延べ 1,031 人で、職場復帰に向けた支援、家庭復帰後の生活の質の向上及び社会生活に向けた支援等を提供した。更に視覚障害者に対しては訪問訓練を実施し、令和 2 年度の訪問訓練実績は 19 件であった。

また、短期入所事業では、在宅の肢体不自由者、視覚障害者を中心に家族等の疾病、休養などの理由で短期的に利用する者等で実人数 6 人、延べ 33 人の受入れを行った。

その他に受託評価事業では、肢体不自由児（者）を対象とし、支援学校（支援学級）在学者の進路指導や施設利用者の生活自立支援に資するため、神奈川リハ病院と連携して、医学・心理・職能・社会生活等の評価を行っており、令和 2 年度の利用者数は実人数 2 人、延べ 10 人であった。また、県内の盲学校等に在籍する視覚障害児（者）を対象に神奈川リハ病院眼科と連携し、視機能・触察能力・日常生活動作・コミュニケーション能力等の評価を行う受託評価事業の利用者数は、実人数 7 人、延べ 25 人であった。

補装具製作では、補装具製作所として神奈川県指定を受け、神奈川リハ病院と連携して、施設利用者や外来患者等の義肢・装具など49件の補装具製作及び修理を行った。

苦情解決の実施状況

各福祉施設が提供する福祉サービスに関する、利用者や家族からの苦情については、第三者からなる苦情解決委員により、知的障害児者及び身体障害者については月2回、重症心身障害児者については月1回の相談日を設け適切かつ公正に対応するとともに、施設毎の苦情解決第三者委員との情報交換等連携を図るため苦情解決連絡会を年2回実施した。なお、令和2年度の苦情等の受付件数は苦情、相談、要望等を合わせて福祉施設全体で55件であった。この内委員受付件数は55件であった。

社会福祉施設サービス自己評価会議の実施状況

社会福祉施設サービス自己評価会議を設置し、各福祉施設が提供する福祉サービスの質について自己評価を行い、サービスの質の確保・向上に努めているが、令和2年度の実施状況は次のとおりであった。

施設名	実施日	実施結果
七沢学園	令和2年9月16日	<p>職員の自己評価に関する集計によれば、トータルでは70.8%が「できている」との回答を示し、高い評価を示している。中でも「個別支援計画の策定や見直しのために会議等を開催していますか」の設問に対しては、92.2%が「できている」回答しており、個別支援計画に基づく計画的な支援の実践と、都度会議等を通じて見直しを図る学園のケアマネジメントのシステムが職員間に定着していることを示している。反面「できている」の回答が5割を下回った項目が、「利用者の日常生活上の自立行為に対する見守りと支援体制」、「余暇・レクリエーション」、「外出」、「地域との交流」、「先駆的な取り組みに学ぶ」だった。主な理由として、今年度はコロナ禍という特殊な社会的制約の影響を受けている点あげられる。また、利用者個々の特性に合わせた支援の難しさと共にマンパワー不足による制約がある等のコメントがあった。</p>
七沢療育園	令和2年11月19日	<p>職員セルフチェックを令和2年11月に実施し、前年度とほぼ同様の結果であった。利用者への接し方や呼称は、会議等で周知を行い改善傾向にあるが、他職員の不適切な対応と感ずる事柄に見て見ぬふりをすると回答した職員がおり、言いやすい環境をいかに作るかが今後の課題となった。一方、利用者対応で職員自身のスキルの問題で対応に時間がかかるケースが発生した時に他職員に速やかに代わるなど良い面も多数記載があった。</p> <p>満足度調査では、日々の関りを伝える書面やビデオ通話等を行い保護者等から高い評価を頂けた。</p> <p>今年度コロナウイルス感染対策として短期利用者数を制限したことで業務にゆとりが持て利用者に対して丁寧なケア、支援ができた。短期利用者の受入れを通常に戻しても丁寧なケア、支援を継続する。</p>
七沢自立支援ホーム	令和3年3月8日	<p>接遇チェック・利用者満足度調査・施設自己チェックを通じて虐待防止、人権擁護、差別解消への意識向上に向けて取り組むとともに、利用者の自立支援および生活の質の向上を目指し、職員個々の専門性を高めるよう努めた。</p> <p>サービス自己評価会議で実施した施設自己評価では、今年度は新型コロナウイルス感染症関連対応により施設生活やサービス面に影響が大きく、外出・外泊、行事、ボランティア、他施設交流等の項目で目標達成が困難であった。今後も市中における感染拡大の状況を見極めつつ、改善が見られた場合には制限事項の解除に向けた検討を随時行う必要がある事を確認した。</p>

(1) 福祉施設利用状況

ア 施設入所支援

(単位 人)

区分	施設名	七沢学園		七沢療育園	七沢自立支援ホーム		計		
		児童	成人		肢体不自由	視覚障害			
定員		30	30	60	40	40	10	50	150
前年度末数		23	29	52	35	36	3	39	126
入所者数		7	6	13	70	33	12	45	128
退所者数		9	5	14	70	42	6	48	132
一日平均入所者数		26.3	29.5	55.8	35.0	31.8	5.0	36.7	127.5
一日平均入所率(%)		87.5	98.4	93.0	89.8	79.4	49.6	73.4	85.6
年度末数		21	30	51	35	27	9	36	122
年間入所者数		9,586	10,780	20,366	12,782	11,592	1,811	13,403	46,551

注1 年度末在在所者数には、3月31日退所者は含まない。注2 七沢療育園は空床型のため、短期利用者を含む。

イ 日中活動支援(障害者支援施設)

(単位 人)

区分	施設名 サービス名	七沢学園(成人)			七沢自立支援ホーム		計	
		生活介護	自立訓練 (生活訓練)	小計	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (機能訓練)		
								小計
定員		19	17	36	42	18	60	96
日中訓練年間延入数		4,388	3,750	8,136	7,753	1,924	9,677	17,813
一日平均利用者数		18.0	15.4	33.5	31.9	7.9	39.8	73.3
一日平均利用率(%)		95.0	90.8	93.0	76.0	44.0	66.4	76.4

注 七沢療育園及び七沢学園(児童)は、児童福祉法による入所であることから日中訓練には該当しない。

(2) 地域福祉支援事業の状況

区分	施設名	七沢学園(児童)			七沢学園(成人)			七沢療育園			七沢自立支援ホーム			計	
		実	備	入	実	備	入	実	備	入	実	備	入		
家族一日利用		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
家族短期入所		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
短期入所		(実)10人	0人	(備)12人	10人	(備)12人	10人	(実)20人	42人	(備)20人	42人	(実)6人	33人	(備)17人	43人
高齢・障害による 短期入所		0人	0人	0人	0人	(備)0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
知的障害児者通所 施設等巡回指導		0人	0人	0人	0人	(備)0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
療育訪問指導事業		0人	0人	0人	0人	(備)0人	0人	0人	0人	7人	7人	0人	0人	7人	7人
重心親子教室		0人	0人	0人	0人	(備)0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
通所事業 (11の舟車)		0人	0人	(備)30人	184人	(備)30人	184人	0人	0人	(備)31人	1,031人	(備)41人	1,072人	1,216人	
委託事業		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	(備)0人	25人	(備)0人	25人	25人	
一時保護(児童福祉 法第33条)		(実)12人	102人	0人	0人	(備)12人	192人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	(備)12人	102人

注 児童は年次別延入数及び年次延入数。七沢学園の知的障害児者通所施設巡回指導と療育訪問指導事業は、児童・成人共通。

(3) 入退所審査会の開催状況

区分	施設名	七沢学園	七沢学園	七沢療育園	七沢自立支援ホーム		計
		(児童)	(成人)		(肢体不自由)	(視覚障害)	
開催回数(回)		6	11	13	26	13	69
実数(人)		11	19	120	38	28	216

(4) 在所児（者）の状況（令和3年3月31日現在）

ア 児童相談所

(単位 人)

施設名 \ 児童相談所	横浜市	川崎市	横須賀市	相模原市	計	中央	小田原	平塚	厚木	鎌倉・三浦	計
七沢学園（児童）	0	0	0	0	0	3	2	7	8	1	21
七沢療育園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	在所児者数	0	0	0	0	3	2	7	9	1	22
	構成比（％）	-	-	0.0	-	-	13.6	9.1	31.8	40.9	4.5

注 七沢療育園は医療型障害児入所施設分である。

イ 市町村

(単位 人)

施設名 市町村	七沢学園 (成人)		七沢療育園	七沢自立支援ホーム (肢体不自由)		七沢自立支援ホーム (視覚障害)		計		
	入所者数	通所者数	入所者数	入所者数	通所者数	入所者数	通所者数	入所者数	通所者数	入所者数 構成比（％）
横浜市	0	0	0	(1) 3	0	3	1	(1) 6	1	6.0
川崎市	1	0	0	3	0	0	0	4	0	4.0
横須賀市	0	0	2	0	0	0	0	2	0	2.0
平塚市	6	0	5	2	0	1	0	14	0	13.9
鎌倉市	1	0	1	1	0	0	0	3	0	3.0
藤沢市	4	0	1	1	0	1	0	7	0	6.9
小田原市	2	0	0	1	0	0	0	3	0	3.0
茅ヶ崎市	0	0	4	0	0	0	0	4	0	4.0
逗子市	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1.0
相模原市	(1) 5	0	3	2	0	0	1	(1) 10	1	9.9
三浦市	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1.0
秦野市	1	0	0	4	0	0	2	5	2	5.0
厚木市	2	1	5	2	1	0	(1) 0	9	(1) 2	8.9
大和市	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2.0
伊勢原市	2	0	1	0	1	1	3	4	4	4.0
海老名市	0	0	1	1	1	0	1	2	2	2.0
座間市	0	0	6	1	0	1	(1) 0	8	(1) 0	8.0
南足柄市	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1.0
綾瀬市	1	0	0	2	0	0	0	3	0	3.0
大磯町	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1.0
二宮町	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1.0
葉山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
箱根町	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1.0
真鶴町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
湯河原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
寒川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
愛川町	0	0	3	1	0	0	1	4	1	4.0
清川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
中井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
大井町	0	0	0	0	0	0	1	0	1	-
松田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
山北町	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1.0
開成町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
計	(1) 30	(0) 1	(0) 34	(1) 25	(0) 3	(0) 8	(2) 10	97	(2) 14	96.6
県外	0	0	0	2	0	1	0	3	0	3.0
合計	(1) 30	(0) 1	(0) 34	(1) 27	(0) 3	(0) 9	(2) 10	100	(2) 14	100.0

注 () 書きは、3月31日退所者で内書きとする。

注 七沢療育園は療養介護事業分である。

(5) 退所児(者)の状況
ア 退所先の状況

区 分	児童		七次学園 成人		小計		七次療育園		七次自立支援ホーム				計								
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	肢体不自由		視覚障害		実数	構成比(%)	実数	構成比(%)					
									実数	構成比(%)	実数	構成比(%)									
地域生活	家庭	家族同居	就労継続支援B型							4				4		4					
			通所サービス		1		1		49	(1)	5		1	(1)	6		56				
			高等学校・大学																		
			進学先 特別支援学級・特別支援学校	5				5		20								25			
			三療養成機関(あんま・鍼・灸)																		
			職業訓練校等										(1)		(1)						
			自営	55.6		20.0		42.9		98.6							50.1		75.0		
			職場復帰										1		(3)	1		1			
			新規就労																		
			趣味・サークル活動・家事等									(1)	9	(8)	2	(9)	11		11		
保護介助										2			2		2						
小計	5		(0)	1	(0)	6	69	(2)	21	(12)	3	(14)	24		99						
地域生活	単身生活	就労継続支援B型								1				1		1					
		通所サービス								4				4		4					
		高等学校・大学																			
		進学先 特別支援学級・特別支援学校																			
		三療養成機関(あんま・鍼・灸)																			
		職業訓練校等									1				1		1				
		自営																			
		職場復帰									(1)	1		(1)	1		1				
		新規就労																			
		趣味・サークル活動・家事等									(1)	5	(1)	2	(2)	7		7			
保護介助																					
小計	0		(0)	0	(0)	0	0	(2)	12	(1)	2	(3)	14		14						
グループホーム	ケアホーム	就労継続支援B型																			
		通所サービス																			
		高等学校・大学																			
		進学先 特別支援学級・特別支援学校																			
		三療養成機関(あんま・鍼・灸)																			
		職業訓練校等																			
		自営																			
		職場復帰																			
		新規就労	2				2										2				
		趣味・サークル活動・家事等																			
保護介助																					
小計	2		(0)	3	(0)	5	0	(0)	5	(0)	1	(0)	6		11						
計	7	77.8	(0)	4	80.0	(0)	11	78.5	69	98.6	(4)	38	90.5	(13)	6	100.0	(17)	44	91.7	124	93.9
(地域生活)	進学先・職業を再掲	高等学校・大学																			
		進学先 特別支援学級・特別支援学校	5				5		15							20					
		三療養成機関(あんま・鍼・灸)																			
		職業訓練校等																			
		小計	5		(0)	0	(0)	5	15	(0)	0	(1)	1	(1)	1		21				
施設等	療養介護支援	自立訓練(機能訓練)																			
		自立訓練(生活訓練)	1				1														
		就労継続支援B型																			
		就労継続支援A型																			
		特別養護老人ホーム																			
施設等	老人保健施設	知的障害児施設	1				1														
		その他旧法施設																			
		小計	2		(0)	1	(0)	3	0	(0)	3	(1)	0	(1)	3		6				
		医療機関	0		(0)	0	(0)	0	0	(0)	1	2.4	(0)	0	(0)	1	2.1		1	0.8	
		死亡	0		(0)	0	(0)	0	1	1.4	(0)	0	(0)	0	(2)	0		1	0.8		
合 計	9	100.0	5	100.0	14	100.0	70	100.0	(4)	42	100.0	(14)	6	100.0	(20)	48	100.0	132	100.0		

注()書きは、通所者で外書きとする

イ 退所児（者）の在所期間の状況

(単位 人)

施設名	退所児(者)数	在所期間														計
		1月未満	1月～2月	2月～3月	3月～4月	4月～5月	5月～6月	0.5年～1年	1年～1.5年	1.5年～2年	2年～3年	3年～5年	5年～10年	10年以上		
七沢学園	児童	実数	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	9
		構成比(%)	11.1	22.2	-	11.1	-	11.1	-	11.1	-	11.1	-	22.2	-	100.0
	成人	実数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	5
		構成比(%)	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	19.9	-	20.0	-	100.0
	小計	実数	1	2	0	1	0	1	1	2	1	2	0	3	0	14
		構成比(%)	7.1	14.2	-	7.1	-	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	-	21.4	-	100.0
七沢療育園	実数	65	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	70	
	構成比(%)	92.9	-	1.4	1.4	-	1.4	1.4	-	-	-	-	1.4	-	100.0	
七沢自立支援ホーム	肢体不自由	実数	(1) 0	0	(2) 1	(1) 1	(1) 1	6	12	17	4	0	0	0	0	(4) 42
		構成比(%)	-	-	2.4	2.4	2.4	14.3	28.6	40.4	9.5	-	-	-	-	100.0
	視覚障害	実数	0	(2) 1	(0) 1	(0) 0	(3) 0	(1) 2	(6) 0	(2) 2	0	0	0	0	0	(14) 6
		構成比(%)	-	16.7	16.7	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	100.0
	小計	実数	(1) 0	(2) 1	(2) 2	(1) 1	(4) 1	(1) 8	(6) 12	(2) 19	4	0	0	0	0	(18) 48
		構成比(%)	-	2.1	4.2	2.1	2.1	16.7	24.9	39.5	8.3	-	-	-	-	100.0
計	実数	(1) 66	(2) 3	(2) 3	(1) 3	(4) 1	(1) 10	(6) 14	(2) 21	5	2	0	4	0	(18) 132	
	構成比(%)	49.9	2.3	2.3	2.3	0.8	7.6	10.6	15.8	3.8	1.5	0.0	3.0	0.0	100.0	

注 () 書きは、通所者で外書きとする。

注 療育園入所については長期・短期の利用者である。

(6) 施設別苦情受付件数

施設名	委員受付			施設受付			外部受付			計		
	苦情	相談	要望	苦情	相談	要望	苦情	相談	要望	苦情	相談	要望
七沢学園(児童・成人)	0	15	3	0	0	0	0	0	0	0	15	3
七沢療育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七沢自立支援ホーム(肢体・視覚)	7	13	17	0	0	0	0	0	0	7	13	17
計	7	28	20	0	0	0	0	0	0	7	28	20

(7) 利用者満足度調査

七沢学園(児童・成人)	3.2/4点
七沢療育園	3.8/4点
七沢自立支援ホーム	3.5/4点

(8) 各福祉施設における特徴的な利用者支援

ア 七沢学園

区分		実人数	延人数	一日平均人数
強度行動障害児者 受入者数 ※1	児童	1	334	0.9
	成人	6	1,977	5.4
医療重度者 ※2		5	1,825	5.0

※1 強度行動障害児者は、県において判定された者以外に、七沢学園において同様の対応が必要な利用者を含む。

※2 医療重度者とは、難治性てんかん、腎不全、胃瘻等で特に医療管理が必要な者をいう。

イ 七沢療育園

区分	実人数	延人数	一日平均人数
超・準超重症児者 受入数 ※1	27 (短期含む) (内長中期13)	4,162 (短期含む) (内長中期4,000)	11.4 (短期含む) (内長期 10.9)
中期利用者数 ※2	4	474	1.3
短期利用者数	39	429	1.2

※1 人工呼吸器などの呼吸管理、気管内挿管、頻回の吸引などにより医療管理と看護を必要とする重症心身障害児者

※2 有期限の医療型障害児入所及び有期限の療養介護による入所利用者

ウ 七沢自立支援ホーム

(ア) 単身生活に向けた支援

区分	人数
単身者の地域移行者数	14

注 家族介護者がなく、療養中における住居喪失者や、顔損等重度の障害者への自立した単身生活へ支援

(イ) 退所者の障害別内訳

区分	人数
脊髄損傷(うち四肢麻痺)	14 (7)
脳外傷者	1
脳血管障害者	20
脳性麻痺	5
二分脊椎	0
その他神経疾患等	2
視覚障害者	6
合計	48

(ウ) 視覚障害者への訪問訓練実績

区分	件数
訪問訓練実績	19

(9) 各福祉施設におけるリハビリテーション・支援の状況

ア 理学療法の状況

施設	区分		人数		件数	
			(人)	構成比 (%)	(件)	構成比 (%)
福祉局	七沢療育園		32	91.4	552	84.3
	七沢学園	児童	0	-	0	-
		成人	3	8.6	103	15.7
	七沢ライトホーム		0	-	0	-
計			35	100.0	655	100.0

イ 作業療法の状況

施設	区分		人数		件数		自助具 ステップ	自動車 その他	ADL室 訓練数	家庭訪問
			(人)	構成比 (%)	(件)	構成比 (%)				
福祉局	七沢療育園		5	6.3	78	1.1	0	0	0	0
	七沢学園	児童	0	-	0	-	0	0	0	0
		成人	0	-	0	-	0	0	0	0
	七沢自立支援ホーム		74	93.7	7,200	98.9	25	103	84	18
計			79	100.0	7,278	100.0	25	103	84	18

ウ 言語訓練の状況

区分	施設名	七沢学園		七沢 療育園	七沢自立支援ホーム	計
		児童	成人			
件数		0	0	23	937	960
構成比 (%)		-	-	2.4	97.6	100.0

エ 職能訓練・支援の状況

施設名		七沢自立支援ホーム	
		件数	構成比(%)
評価	職能評価	19	2.1
	受託評価	96	10.6
作業支援	事務系作業	0	-
	手工芸系作業	0	-
就労支援	職業準備訓練	0	-
	職業準備学習	0	-
	個別事務系作業	700	77.0
職場内リハビリテーション		0	-
相談支援	本人面接	32	3.5
	家族面接	21	2.3
	関係者面接	41	4.5
計		909	100.0

オ 心理科の状況

施設名	七沢療育園		七沢学園				七沢自立支援ホーム				受託評価		計	
			児童		成人		肢体不自由部門		視覚障害部門					
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
心理テスト	4	50.0	58	3.0	34	18.1	54	16.8	5	22.7	34	91.9	189	29.4
心理面接	0	-	0	-	6	3.2	9	2.8	11	50.0	0	-	26	2.9
行動観察	0	-	11	0.6	106	56.4	0	-	0	-	0	-	117	7.2
心理治療	0	-	1,410	73.4	13	6.9	240	74.5	4	18.2	0	-	1,667	54.0
家族面接他	4	50.0	441	23.0	29	15.4	19	5.9	2	9.1	3	8.1	498	6.5
計	8	100.0	1,920	100.0	188	100.0	322	100.0	22	100.0	37	100.0	2,497	100.0

2 病院事業

神奈川リハビリテーション病院（略称「神奈川リハ病院」）

神奈川リハビリテーション病院では、脊髄損傷、脳外傷等の後天性脳損傷（高次脳機能障害）、骨関節疾患（変形性股関節症等）、脳血管障害、神経難病、小児神経疾患を中心に早期社会復帰に向けたリハビリテーション医療を行っている。令和2年度には股関節や膝関節の手術に対応する手術ロボット支援システムを導入した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大においては、帰国者・接触者外来の設置に始まり発熱診療等医療機関として、また、重点医療機関協力病院Aとして神奈川県感染症対策に協力を行った。

令和2年度の入院患者数は、延78,208人（実入院患者数1,149人）で、一日平均の入院患者数は214.3人（一日平均入院率76.5%）であった。

入院相談申し込み件数は1,590人で、そのうち承認されたのは1,096人（68.9%）であった。

退院患者数は、1,148人で、自宅復帰が1,021人（88.9%）であった。

外来患者数は、延45,452人（一日平均187.0人）で、内訳は、初診が2,000人で再診が43,452人であった。

区 分	病 院 名	神奈川リハ病院
前年度末在院患者数		218
入院患者数		1,149
退院患者数		1,148
一日平均患者数		214.3
一日平均入院率 (%)		76.5
平均在院日数 (日)		67.1
年度末在院患者数		219
年間延入院患者数 (診療実日数365日)		78,208
一日平均外来患者数		187.0
年間延外来患者数 (診療実日数243日)		45,452

※ 平均在院日数は回復期病棟等の入院患者の平均在院日数も含む。

(2) 入院及び外来患者の状況

ア 診療科別の状況

(単位 人)

診療科	区 分	入 院		外 来	
		年間延患者数	構成比 (%)	年間延患者数	構成比 (%)
内 科		104	0.1	4,064	8.9
神 経 内 科		3,044	3.9	1,888	4.2
小 児 科		6,350	8.1	4,057	8.9
外 科		0	-	972	2.1
整 形 外 科		28,286	36.2	12,849	28.2
脳 神 経 外 科		8,241	10.5	3,580	7.9
皮 膚 科		55	0.1	3,174	7.0
泌 尿 器 科		860	1.1	5,354	11.8
婦 人 科		0	-	1	0.0
眼 科		0	-	1,345	3.0
耳 鼻 咽 喉 科		0	-	534	1.2
リハビリテーション科		31,268	40.0	6,788	14.9
放 射 線 科		0	-	43	0.1
麻 酔 科		0	-	0	-
歯科口腔外科		0	-	803	1.8
計		78,208	100.0	45,452	100.0

イ 重度障害者の受入実績

区分	人数
脊髄損傷者	80
(うち四肢麻痺者)	51
高次脳機能障害者	236
神経難病患者	26
小児神経疾患患者	105

(3) 科別手術の状況

科別 \ 区分	整形外科	泌尿器科	脳外科	耳鼻科	計
件数 (件)	290	29	3	1	323
構成比 (%)	89.8	9.0	0.9	0.3	100.0

(4) 紹介・逆紹介件数実績

区 分	件 数
紹 介	1,030
逆 紹 介 ※	1,645

(5) セカンドオピニオン実績

件 数
1

※ 逆紹介とは、地域のかかりつけ医や介護保険事業所等に診療情報の提供を行う場合や、脳卒中地域連携バスによる地域への情報提供をいう。

(6) 退院患者の状況

ア 退院状況

			転帰(退院経路)									
			自宅		施設		転院		死亡		合計	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
高次脳障害	入院経路	自宅	35	3.0	2	0.2	1	0.1	0	—	38	3.3
		施設	0	—	2	0.2	0	—	0	—	2	0.2
		転院	170	14.8	16	1.4	10	0.9	0	—	196	17.1
		小計	205	17.9	20	1.7	11	1.0	0	—	236	20.6
脊髄損傷	入院経路	自宅	3	0.3	0	—	0	—	0	—	3	0.3
		施設	0	—	0	—	0	—	0	—	0	0.0
		転院	44	3.8	4	0.3	6	0.5	0	—	54	4.7
		小計	47	4.1	4	0.3	6	0.5	0	—	57	5.0
変形性股関節	入院経路	自宅	128	11.1	1	0.1	2	0.2	0	—	131	11.4
		施設	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
		転院	7	0.6	0	—	0	—	0	—	7	0.6
		小計	135	11.8	1	0.1	2	0.2	0	—	138	12.0
小児	入院経路	自宅	72	6.3	0	—	0	—	0	—	72	6.3
		施設	0	—	0	—	0	—	0	—	0	0.0
		転院	27	2.4	1	0.1	5	0.4	0	—	33	2.9
		小計	99	8.6	1	0.1	5	0.4	0	—	105	9.1
その他	入院経路	自宅	234	20.4	1	0.1	8	0.7	0	—	243	21.2
		施設	0	—	19	1.7	0	—	0	—	19	1.7
		転院	301	26.2	30	2.6	19	1.7	0	—	350	30.5
		小計	535	46.6	50	4.4	27	2.4	0	—	612	53.3
全体	入院経路	自宅	472	41.1	4	0.3	11	1.0	0	—	487	42.4
		施設	0	—	21	1.8	0	—	0	—	21	1.8
		転院	549	47.8	51	4.4	40	3.5	0	—	640	55.7
		合計	1,021	88.9	76	6.6	51	4.4	0	—	1,148	100.0

(7) 地域別入院患者の状況 (単位 人)

区 分	患者数	構成比 (%)
横 浜 市	112	9.7
川 崎 市	42	3.7
横 須 賀 市	9	0.8
平 塚 市	65	5.7
鎌 倉 市	6	0.5
藤 沢 市	37	3.2
小 田 原 市	31	2.7
茅 ヶ 崎 市	22	1.9
逗 子 市	2	0.2
相 模 原 市	79	6.9
三 浦 市	4	0.3
秦 野 市	68	5.9
厚 木 市	272	23.7
大 和 市	16	1.4
伊 勢 原 市	66	5.7
海 老 名 市	46	4.0
座 間 市	27	2.3
南 足 柄 市	13	1.1
綾 瀬 市	11	1.0
三 浦 郡	3	0.3
高 座 郡	8	0.7
中 郡	12	1.0
足 柄 上 郡	10	0.9
足 柄 下 郡	4	0.3
愛 甲 郡	49	4.3
県 内 計	1,014	88.3
東 京 都	79	6.9
そ の 他	56	4.9
県 外 計	135	11.7
合計	1,149	100.0

- ※ 七沢療育園は除く。
- ※ 前年度からの繰越患者数を新規入院患者数に含めない。

(8) 薬剤業務の状況

ア 調剤件数

施設名	区分		内服		外用		頓服		計	
	処方せん枚数	件数	延剤数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	延剤数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
入院	35,084	82,251	631,611	80.6	7,106	44.0	46,125	88.6	5,635	76.3
外来	11,341	19,757	860,348	19.4	9,030	56.0	127,128	11.4	725	23.7
計	46,425	102,008	1,491,959	100.0	16,136	100.0	173,253	100.0	6,360	100.0

注 構成比は、件数に対する比率で、神奈川リハ病院の入院には七次療育園を含む。

イ 注射薬払出件数・製剤件数

施設名	区分	注射		薬		製剤数
		枚数	件数	延剤数	構成比 (%)	
入院		8,576	18,782	19,757	78.6	18
外来		2,359	5,121	5,121	21.4	
計		10,935	23,903	24,878	100.0	

ウ 薬剤管理指導業務

服薬指導延患者数	3,326人
服薬指導延回数	10,518回
算定件数	8,449件
エ 後発薬品採用率	
品目採用率	50.3%
金額採用率	16.3%

(9) 検査業務の状況

検査項目 区分	一般検査	血液学的 検査	臨床化学的 検査	内分泌学的 検査	免疫学的 検査	微生物学的 検査	生理機能 検査	病理学的 検査	解剖	その他検体 検査	計
院内処理件数	69,102	93,209	200,012	1,503	16,355	13,391	3,324	0	0	6,097	402,993
委託件数 (外注)	7	54	961	292	1,529	10	0	271	0	3	3,127
計	69,109	93,263	200,973	1,795	17,884	13,401	3,324	271	0	6,100	406,120
構成比 (%)	17.0	23.0	49.5	0.4	4.4	3.3	0.8	0.1	-	1.5	100.0

(10) 放射線業務の状況

ア 放射線撮影件数

(単位 件)

撮影区分 区 分	透視	撮 影					合 計
		造 影	一 般	断 層	歯 科	小 計	
入 院	28	18	5,328	42	0	5,388	5,416
外 来	93	65	11,601	27	0	11,693	11,786
計	121	83	16,929	69	0	17,081	17,202
構成比 (%)	0.7	0.5	98.4	0.4	0	99.3	100.0

イ RI検査回数

(単位 回)

検査区分 区 分	シンチグラフィ	機 能 検 査	試 料 測 定	計
入 院	149	0	0	149
外 来	132	40	0	172
計	281	40	0	321
構成比 (%)	87.5	12.5	-	100.0

ウ コンピュータX線断層撮影件数

撮影区分 区 分	単 純		造 影		計	
	件 数	回 数	件 数	回 数	件 数	回 数
入 院	900	198,900	70	25,077	970	223,977
外 来	2,216	588,765	68	21,220	2,284	609,985
計	3,116	787,665	138	46,297	3,254	833,962
構成比 (%)	95.8	94.4	4.2	5.6	100.0	100.0

エ MR検査件数

撮影区分 区 分	単 純	造 影	計
	件 数	件 数	件 数
入 院	832	10	842
外 来	1,351	20	1,371
計	2,183	30	2,213
構成比 (%)	98.6	1.4	100.0

(11) 給食業務の状況

給食業務は、神奈川リハ病院と福祉施設、それぞれの厨房で実施している。

(1) 福祉施設延給食数

(単位 食)

施設名	区分	入所見学者数							短期利用等入所者	指導食	検食・保存食	計	
		常食	構成比	軟流動食	構成比	特別食	構成比	小計					構成比
七沢学園	児童	26,919	21.3 %	0	- %	0	- %	26,919	21.3 %	166	3,102	2,919	33,109
	成人	27,969	22.2 %	0	- %	1,088	0.9 %	29,057	23.0 %	441	1,095	0	30,593
七沢療育園		0	- %	27,008	21.3 %	4,933	3.9 %	31,941	25.3 %	616	1,002	0	33,553
七沢自立支援ホーム		12,976	10.3 %	42	0.1 %	25,326	20.0 %	38,338	30.4 %	0	0	1,095	39,433
計		67,858	53.8 %	27,050	21.4 %	31,347	24.8 %	126,255	100.0 %	1,211	5,199	4,014	136,679

注1 短期利用等入所者は、受託評価及び短期入所者の給食とする。

注2 七沢学園（成人）及び七沢自立支援ホームの通所者の給食は、入所見学者数に含む。

(2) 病院延給食数

(単位 食)

病院名	区分	常食	軟流動食	特別食	検食・保存食	計
		食数	67,017	9,513	148,002	5,109
神奈川リハ病院	構成比 (%)	29.2	4.1	64.5	2.2	100.0

(12) 理学療法の状況

施設		人数		件数		ブレースクリニック		マッサージ	社会環境 訓練	家庭訪問
		(人)	構成比 (%)	(件)	構成比 (%)	処方数	対応数			
病 院	入 院	1,239	60.9	64,497	88.9	289	2,134	0	3	77
	外 来	797	39.1	8,049	11.1	494		4	0	0
計		2,036	100.0	72,546	100.0	783	2,134	4	3	77

(13) 作業療法の状況

施設		人数		件数		自助具 スプリ ント	自 動 車 の 他	ADL室 訓練 数	家庭訪問
		(人)	構成比 (%)	(件)	構成比 (%)				
病 院	入 院	957	77.6	48,710	97.8	117	883	367	65
	外 来	276	22.4	1,105	2.2				0
計		1,233	100.0	49,815	100.0	117	883	367	65

(14) 言語訓練の状況

	入 院	外来個別訓練	外来集団訓練	合計
件数	26,580	1,904	68	28,552
構成比 (%)	93.1	6.7	0.2	100.0

(15) 心理検査等の状況

区分	入院		外来		計	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
心理テスト	4,864	35.0	1,052	36.2	5,916	29.4
心理面接	626	4.5	17	0.6	643	2.9
行動観察	817	5.9	366	12.6	1,183	7.2
心理治療	6,937	50.0	1,414	48.6	8,351	54
家族面接他	637	4.6	57	2.0	694	6.5
計	13,881	100.0	2,906	100.0	16,787	100.0

(16) 職能訓練の状況

ア 訓練種別施設別訓練件数

区分	施設名	入院		外来		計	
		件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
評価	職能評価	4,550	20.2	199	3.0	4,749	16.3
	受託評価	0	-	-	-	0	-
作業支援	事務系作業	4,409	19.6	578	8.7	4,987	17.1
	手工芸系作業	4,205	18.7	189	2.8	4,394	15.1
就労支援	職業準備訓練	3,132	13.9	851	12.9	3,983	13.7
	職業準備学習	358	1.6	363	5.5	721	2.5
	個別事務系作業	5,105	22.6	2,484	37.3	7,589	26.0
職場内リハビリテーション		0	-	647	9.7	647	2.2
相談支援	本人面接	645	2.9	982	14.8	1,627	5.6
	家族面接	17	0.1	168	2.5	185	0.6
	関係者面接	107	0.5	195	2.9	302	1.0
計		22,528	100.0	6,656	100.0	29,184	100.0

注1：評価・作業支援・就労準備・相談支援は、20分を1件としてカウントしている。

注2：職場実習は事業所の中で事業所の協力の下で実施した。1時間を1件としている。

イ 障害別訓練状況(単位 人)

区分	人数	構成比
外傷性脳損傷	129	25.9
脳血管障害	211	42.3
脊髄障害	77	15.4
脳疾患	49	9.8
知的障害	0	0.0
その他	33	6.6
合計	499	100.0

ウ 障害別就労者数(単位 人)

区分	新規就労	復職	自営業	合計
外傷性脳損傷	1	15	2	18
脳血管障害	6	40	5	51
脊髄障害	0	4	1	5
脳疾患	0	3	1	4
知的障害	0	0	0	0
その他	1	0	1	2
合計	8	62	10	80

(17) 体育指導の状況

施設名		神奈川リハ病院		計	
		件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
訓練	室内訓練	10,192	75.4	10,192	75.4
	屋外訓練	2,548	18.9	2,548	18.9
	水泳訓練	0	-	0	-
評価		776	5.7	776	5.7
計		13,516	100.0	13,516	100.0

(18) リハビリテーション工学の状況

義肢製作及び評価等の状況

(単位 件)

施設名	神奈川リハ病院		その他	計	構成比 (%)
	入院	外来			
義肢製作及び評価	90	156	0	246	23.5
補装具製作及び試作	0	2	0	2	0.2
歩行・動作計測	178	4	1	183	17.4
車いす設計・製作及び評価	189	48	1	238	22.7
座圧計測	84	19	19	122	11.6
ポジションチェア、製作及び評価	46	11	0	57	5.4
意志伝達装置設計・製作及び評価	12	8	0	20	1.9
住宅改修設計および評価	0	0	0	0	0.0
エンジニアリング・サービス	141	35	5	181	17.3
計	740	283	26	1,049	100.0
構成比 (%)	70.5	27.0	2.5	100.0	-

注1 義肢製作及び評価には、修理を含む。

注2 地域支援はその他に含む。

(19) 相談の状況 (令和2年4月～令和3年3月)

施設名	区分		方法						対象												
	件数	構成比(%)	面接	電話	訪問	文章	カンファ	情報交換	本人	家族	外部機関	当院スタッフ	その他	小計							
神奈川リハビリ病院	25,775	7,334	8,102	165	2,211	1,630	6,050	283	5,411	5,613	6,209	8,469	193	25,895							
	67.0	28.5	31.4	0.6	8.6	6.3	23.5	1.1	20.9	21.7	24.0	32.7	0.7	100.0							
七瀬療育園	0.7	3	54	0	43	45	107	0	0	17	56	192	0	265							
	0.7	1.2	21.4	0.0	17.1	17.9	42.4	0.0	0.0	6.4	21.1	72.5	0.0	100.0							
七瀬学園	3,289	161	699	48	492	275	1,614	0	43	80	1,224	2,328	0	3,675							
	8.4	4.9	21.3	1.5	15.0	8.4	48.9	0.0	1.2	2.2	33.3	63.3	0.0	100.0							
成人訓練	3,373	150	802	30	468	321	1,601	1	124	47	944	2,478	0	3,593							
	8.8	4.4	23.9	0.9	13.9	9.5	47.6	0.0	3.5	1.3	26.3	68.9	0.0	100.0							
成人介護	352	7	108	0	39	34	158	6	1	38	113	291	12	455							
	0.9	2.0	30.7	0.0	11.1	9.7	44.8	1.7	0.2	8.4	24.8	64.0	2.6	100.0							
七瀬自立支援ホーム	3,972	773	1,385	59	247	124	1,188	196	885	635	1,389	1,893	38	4,840							
	10.3	19.5	34.9	1.5	6.2	3.1	29.9	4.9	18.3	13.1	28.7	39.1	0.8	100.0							
肢体部門	1,460	240	495	9	94	74	521	27	270	159	494	833	7	1,763							
	3.8	16.4	34.0	0.6	6.4	5.1	35.7	1.8	15.3	9.0	28.1	47.3	0.3	100.0							
視覚部門	38,473	8,668	11,645	311	3,594	2,503	11,239	513	6,734	6,589	10,429	16,484	250	40,486							
	100.0	22.6	30.3	0.8	9.3	6.5	29.2	1.3	16.6	16.3	25.8	40.7	0.6	100.0							
施設名	件数	構成比(%)	ケアプラン	高齢系	障害サービス	医療系	参加プラン	日中活動	就労	就学	転院相談	(施設有) 相談	福祉・在宅機器	補装具	医療・利用費	経済生活	家族支援	疾病障害理解	相談・支援	その他	小計
	2,654	3,010	2,903	1,812	2,587	1,213	1,225	488	378	369	661	2,189	2,645	611	1,069	1,973	3,054	4,191	3,226	36,258	
神奈川リハビリ病院	7.3	8.3	8	5	7.1	3.3	3.4	1.3	1.0	1	1.8	6.0	7.3	1.7	2.9	5.4	8.4	11.7	9.1	100.0	
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	175	9	1	21	2	10	44	266
七瀬療育園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	65.7	3.4	0.4	7.9	0.8	3.8	16.5	100.0	
	236	4	4	1,891	951	0	326	282	1,503	2	545	2	27	1,073	965	1,172	568	1,889	420	11,860	
七瀬学園	2.0	0.0	0.0	16.0	8.0	0.0	2.7	2.4	12.8	0.0	4.6	0.0	0.2	9.0	8.1	9.9	4.8	16.0	3.5	100.0	
	351	1	1	1,332	566	0	1,239	24	53	3	587	0	0	971	1,005	895	504	1,507	631	9,670	
成人訓練	3.6	0.0	0.0	13.9	5.8	0.0	12.9	0.2	0.5	0.0	6.1	0.0	0.0	10.0	10.4	9.3	5.2	15.7	6.4	100.0	
	2	0	0	33	1	0	2	0	0	1	42	15	28	47	4	57	17	95	72	416	
成人介護	0.5	0.0	0.0	7.9	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0	0.2	10.1	3.6	6.7	11.3	1.0	13.7	4.1	22.9	17.3	100.0	
	390	142	21	222	76	3	39	34	2	52	141	388	528	279	350	263	135	830	706	4,601	
七瀬自立支援ホーム	8.5	3.1	0.5	4.8	1.7	0.1	0.8	0.7	0.0	1.1	3.1	8.4	11.6	6.1	7.5	5.7	2.9	18.0	15.4	100.0	
	253	32	14	54	25	0	4	7	0	21	29	103	78	56	27	107	122	316	303	1,551	
肢体部門	16.4	2.1	0.9	3.5	1.6	0.0	0.3	0.5	0.0	1.4	1.9	6.6	5.0	3.6	1.7	6.9	7.9	20.3	19.4	100.0	
	3,886	3,189	2,943	5,344	4,207	1,216	2,835	835	1,936	451	2,005	2,697	3,481	3,046	3,421	4,488	4,402	8,838	5,402	64,622	
視覚部門	6.0	4.8	4.6	8.3	6.5	1.9	4.4	1.3	3.0	0.7	3.1	4.2	5.4	4.7	5.3	6.9	6.8	13.7	8.4	100.0	
	6.0	4.8	4.6	8.3	6.5	1.9	4.4	1.3	3.0	0.7	3.1	4.2	5.4	4.7	5.3	6.9	6.8	13.7	8.4	100.0	

(20) 地域連携室の状況

ア 入院相談件数等

(件数)

相談総数	相談のみ	入院申込数					
		承認前 辞退等	不承認	承認	辞退	入院決定数	
	1,590	327	1,263	31	136	1,096	227

イ 相談からの日数

(日数)

区分	相談～ 入院までの日数	相談～ 辞退までの日数	相談～ 決定・連絡までの日数
日数	14.9日	7.9日	7.2日

ウ 地域連携室で受けた相談全体の種類と件数

(件数)

区分	入院相談 ・調整	外来受診相談	施設受診相談	在宅療養相談	病状相談	病院紹介関連	その他	合計
件数	327	477	48	127	69	110	164	1,322
構成比(%)	24.7	36.0	3.6	9.6	5.2	8.3	12.4	99.8

3 リハビリテーション研究事業

神奈川リハビリテーション病院研究部（略称「研究部」）

当研究部は、障害者等の自立促進を目的に、リハビリテーションに関する調査、研究・開発を行っている。また、これらの成果物を対外的に発信する中で、障害者スポーツの普及に取り組んでいる。

(1) リハビリテーションに関する調査、研究・開発

研究は、以下1)～3)を視点に、医学的、工学的、社会福祉学的領域において調査、研究・開発を行い医療・福祉の向上に向け取り組んだ。また、当センターの調査、研究・開発経験を活かし、企業との共同研究、受託研究を実施した。

- 1) 障害発生の原因の解明とそれに基づく予防対策の確立
- 2) 障害発生の除去、修復メカニズムの解明
- 3) 障害者の自立促進のための研究

研究の主な対象としては、神奈川リハ病院では、①骨関節疾患（変形性関節症）、②脊髄損傷及び脊髄疾患、③神経難病（小児神経疾患を含む）、④高次脳機能障害（外傷性脳損傷、脳卒中など）である。

調査、研究、開発成果のひとつとして、TOTO株式会社とともに脊髄損傷者が退院後の生活で水回り（トイレ、浴室、脱衣、洗面、キッチンなど）の調査研究結果をもとに、TOTO株式会社が発行する水回りのプラン集「バリアフリーブック住まいの水まわり編」を監修した。

その他、厚生労働省補装具費支給制度に新たに登録するための座位保持装置・完成用部品のフィールド評価を株式会社モルテンより依頼を受け、実施している。

また、3Dプリンターを活用した「かなりは式3Dプリントシステム」を構築し、リハビリテーションで生活動作の獲得や生活の質の向上に求められる自助具や福祉機器を医師やセラピストと連携し作成を試みている。現在は、継続的なシステム構築と評価を継続している。

さらに、脊髄損傷に関する製薬会社の治験について、当研究部が院内のコーディネートをを行った。

(2) 神奈川リハビリテーション病院倫理委員会承認の研究テーマ

当院では、リハビリテーションに関する調査、研究・開発の実施に際し、神奈川リハビリテーション病院の倫理委員会の承認を得ている。研究テーマは、以下のとおりである。

研究テーマ

申請番号	所属	審議内容
krh-2020-1	研究部	座位保持装置の評価
krh-2020-2	診療部 整形外科	THA 術前患者における鼻腔内の保菌状況および危険因子の同定
krh-2020-3	リハ部 作業療法科	小児患者へのリモートリハビリによる効果検証
krh-2020-4	看護部 4B 病棟	看護研究「新型コロナウイルス(COVID-19)に関連した実習期間短縮に伴う実習指導者の取り組み」の実施の可否

申請番号	所属	審議内容
krh-2020-5	診療部 泌尿器科	間欠バルーンを使用している患者へのアンケート調査
krh-2020-6	診療部 整形外科	トモシンセシスを用いた人工股関節置換術後の早期新生骨形成の評価
krh-2020-7	看護部 4A 病棟	実習指導者と看護教員間におけるコミュニケーションに必要な要素とは ～テキストマイニングを用いた実習指導記録の分析より～
krh-2020-8	看護部 手術室	ウォーターレス法による手術時手洗いの評価
krh-2020-9	看護部 集中治療室	脊髄損傷患者の腹臥位手術における苦痛の要因と看護介入の評価
krh-2020-10	看護部 5 A 病棟	経口与薬に対する医療安全教育を行ったスタッフの意識の変化～ロールプレイを用いた医療安全教育～ の実施の可否
krh-2020-11	事務部 病院管理課	持続陽圧呼吸療法（C P A P）におけるデータ通信モジュールを利用した遠隔モニタリングの導入及びデータセンターへのWEB閲覧について
krh-2020-12	診療部 泌尿器科	脊髄障害者における前立腺特異抗原(PSA)値の検討
krh-2020-13	診療部 リハビリ科	障害別による臥位、座位、移動時の呼気ガス分析装置を用いたエネルギー消費量の評価
krh-2020-14	研究部 リハ工学研究室	上肢切断・欠損者に対する ZOOM アプリを用いた実生活での義手の使用状況の評価
krh-2020-15	研究部	再生医療等製品「ステミラック注」使用成績比較調査
krh-2020-16	研究部	Dorr 分類における髄腔適合性に関する研究
krh-2020-17	診療部 脳神経外科	一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業
krh-2020-18	事務部 病院管理課	NHK番組収録に伴う患者情報の扱いについて
krh-2020-19	看護科長会	看護職員の職務満足度に与える要因 ～看護職員満足度調査結果～
krh-2020-20	看護部 3 階病棟	慢性期の脊髄損傷患者の下剤を使用しない排便管理の関わり ～慢性期の脊髄損傷患者の下剤を使用しない排便管理の条件を明らかにする～
krh-2020-21	診療技術部 薬剤科	薬剤供給のためのシステム登録、観察研究参加および薬剤の適応外使用について

申請番号	所属	審議内容
krh-2020-22	リハ部 理学療法科	理学療法科員が職能団体から依頼を受ける講義・研修会で用いるスライドへの患者の動画の使用について
krh-2020-23	診療部 整形外科	寛骨臼形成不全の長期経過
krh-2020-24	研究部	Dorr 分類における髄腔適合性に関する研究(krh-2020-16の期間延長について)

(3) 情報提供・情報発信

区分	主な事業
医学・研究等の撮影業務	静止画（事務作業支援含む） 334件
	動画（編集含む） 169件
図書業務	文献複写支援件数 54件
	定期購読中の雑誌
	国内誌 55タイトル
	国外誌 15タイトル
	(内 電子ジャーナル 4タイトル)
令和2年度製本雑誌	国内(和雑誌) 110冊
	国外(洋雑誌) 34冊
研究・研修事業	神奈川県総合リハビリテーションセンター研究発表会 開催 神奈川県総合リハビリテーションセンター紀要第45号 発行
その他	研修などのポスター作製の支援（プリンター利用の開放）

(4) 研究発表会

神奈川県総合リハビリテーションセンター研究発表会の実施状況は下記のとおりである。

ア 開催回数 (通算)	44 回目
イ 日 時	令和 3 年 2 月 16 日 13 : 30 ~ 17 : 00
ウ 場 所	神奈川リハビリテーション病院 3 階研修室
エ 参 加 者 数	98 名参加
オ 発 表 内 容	

I 一般演題 計 11 題

内訳 看護交流会受賞演題 3 題, 一般演題 5 題, ポスター発表 3 題

II シンポジウム

テーマ 「リモートリハの実現に向けた神奈川リハの取り組み」

<座長> 副病院長 渡辺 偉二
研究部 村田 知之

<シンポジスト>

「重度障害者就労支援」

神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション部 職能科
松元 健

「高次脳機能障害」

神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション部 職能科
露木 拓将

「筋電義手」

神奈川リハビリテーション病院 研究部 リハビリテーション工学研究室
對間 泰雄

「小児リハ」

神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション部 作業療法科
高橋 大樹

「地域連携」

神奈川リハビリテーション病院 診療管理部 地域連携室
平田 美紀

ディスカッション

(5) かながわりハビリロボットクリニック Kanagawa Rehabili Robot Clinic (KRRC) の取り組み

筋電義手の処方、訓練など筋電義手の普及に向けた取り組み、ロボットリハビリテーションの実施、企業・大学研究室への開発支援を行った。また、さがみロボット産業特区における実証実験の受入れ調整について行った。

筋電義手の処方・訓練については、患者の日常生活や職場、学校生活などの実態に合わせ必要な操作ができるよう訓練内容を患者個人ごとに工夫するとともに、電極の位置やソケットのフィット感、使用に当たり痛みや不快感が無いよう適切なソケットの製作に取り組んだ。特に本年度は、乳幼児からの相談が多く、4人の乳幼児の訓練を開始した。公費の認定は、障害者総合支援法による認定1名、労働者災害補償保険制度による認定1名となった。また自宅における日常生活面での義手の使用状況の把握や新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、WEB会議システムを利用したリモート訓練を実施した。

ロボットを活用したリハビリテーションでは、主に脊髄損傷の患者を対象に Rewalk や HAL®を活用した歩行訓練を行なった。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で外来リハが制限されたため、実施件数は減少した。今後、再生医療が臨床適応された場合には、ロボットを活用したリハビリテーションが有効であると考えており、プロトコルの構築に向け引き続き検討をしていく。

また、東京オリンピックの聖火ランナーに当院推薦の脊髄損傷の患者が選考されていることから、外骨格型ロボットの Rewalk を利用した走行に向け、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会聖火リレー担当者と協働し組織委員会が製作したトーチ保持用アタッチメントの確認や改良を行った。

ア 相談者の状況

区 分	今年度累計	
	件数	構成比
個 人	10	52.6%
本 人	5	26.3%
家 族	5	26.3%
福祉関係施設	0	-
医療機関	2	10.5%
大学・研究機関	0	-
企 業	4	21.1%
国	0	-
地方自治体	3	15.8%
その他	0	-
合 計	19	100.0%

イ 相談内容

項 目	今年度累計	
	件数	構成比
筋電義手	12	63.2%
ロボットリハビリの実施について	2	10.5%
実証実験の実施について	5	26.3%
さがみロボット産業 特区関係	1	5.3%
さがみロボット産業 特区以外の実証実験	4	21.0%
その他	0	-
合 計	19	100.0%

(6) さがみロボット産業特区等への協力

県による県民生活の安全・安心の確保及び地域社会の活性化を実現するための「さがみロボット産業特区」における生活支援ロボットの実証実験の場としてリハセンターが位置づけられている。事業団として、リハビリに役立つロボットの実用化に向けて、実証実験の協力を行い、リハビリテーションにおける効果検証や、製品に対する評価・改善点の提言を行った。また、県や市のロボット産業に関する協議会等に委員協力を行った。

表1 主な開発支援・実証実験等

製品名	企業名・所管課	ロボットの概要	協力内容
歩行支援ロボット 「ReWalk」	(株)安川電機 (産業振興課)	腕時計型の指示器と角度センサーにより、自分の意志を反映した歩行を可能とするロボット。脊髄障害により起立や歩行が出来ない人の立位や歩行をサポートする。	患者に装着しリハビリテーション効果の評価をはじめ、病院職員による改善点の提言 (神奈川リハ病院)
ロボットスーツ HAL®	サイバーダイネ (株) (高齢福祉課・介護ロボット普及推進センター事業)	人が身体を動かそうとした時の皮膚表面に現れる微弱な生体電位信号により各部のモーターが駆動し、身体機能を拡張、増幅、支援する。不全麻痺の脊髄障害、脳卒中患者の歩行支援を行う。	患者に装着しリハビリテーション効果の評価をはじめ、病院職員による改善点の提言 (神奈川リハ病院)
パワーアシスト ハンド	(株)エルエーピー (産業振興課)	脳卒中、脳外傷による手指の関節拘縮予防及び手の麻痺に対するリハビリ補助装置。空気の圧力により伸縮するペローズ(蛇腹)を利用し、手指の屈伸、開閉動作の反復他動運動を行うリハビリ支援ロボット	患者に装着しリハビリテーション効果の評価、自主トレーニングでの活用、職員による評価・改善点の提言 (神奈川リハ病院)
タッチレスキー、服薬支援機器	日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社 (産業総合研究所・産業振興課)	非接触型のタッチレスキー 飲み忘れを防ぐ服薬支援機	患者特性を踏まえた病院での使用可能性評価、製品評価 (神奈川リハ病院)

(7) 障害者スポーツの支援

ア かながわ障害者スポーツ支援部門 Kanagawa Para-Sports Support Project (K P S P) の取り組み

神奈川県における障害者スポーツ・競技・レジャーの拠点として、当院の患者に向けた障害者スポーツ・競技・レジャーに関する医療的支援や情報提供、各競技団体との連携し、障害者のスポーツ・競技・レジャーへの参加と継続につながる総合的な支援をおこなう取組である。

障害者スポーツ・競技・レジャー等に携わる職員の経験や情報を集約し、障害者スポーツ・競技・レジャーを担う団体とともに普及・啓発を目指すとともに、それら情報を発信していくことを目指している。

本年度は、厚木市と協働し「共生社会ホストタウン事業」として東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会を契機に、厚木市内の高校生を対象とした車いすバスケットチームのサポート体験等の企画をしていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。同様に例年実施している障害者スキー普及講習会としてチェアスキーのイベントについても中止とした。

イ 神奈川県障害者スポーツ推進プロジェクト

神奈川県スポーツ局スポーツ課が『令和2年度「神奈川県障害者スポーツ推進プロジェクト」実施モデル展開業務委託』として公募し、神奈川リハビリテーション病院が受託した事業である。障がい者の継続的なスポーツの実施促進に向けて、障がい者スポーツの振興体制の強化、身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備等を図ることを目的としている。

本年度受託した事業は、新型コロナウイルス感染症の災禍の中で実施することとなり、感染拡大防止の観点から限定的な支援を行うこととなった。実施内容は、昨年度応募のあった施設に対しフォローアップ支援としてアドバイザー派遣の実施、実践事例集（テキスト及び動画）の作成、アンケートの実施であり、実施の概要は以下のとおりである。

(ア) 契約概要

- ① 委託金額 2,067,797 円
- ② 請求金額 1,317,932 円
(新型コロナウイルス感染拡大に伴い訪問支援実施不可分の減額あり)
- ③ 契約期間 令和2年11月9日～令和3年2月26日

(イ) フォローアップ支援のためのアドバイザー派遣

- ① 派遣施設数 1 施設
延べ派遣回数 1 回

② 派遣施設（中止を含む）一覧

	施設名	施設種別	実施日	派遣職員
1	第二やまびこ工房	生活介護、自立訓練（生活訓練）	12月23日 2回目は実施調整中に covid-19 緊急事態宣言が発令され中止	体育指導員 1 名 理学療法士 1 名 社会福祉士 1 名
2	放課後等デイサービス サイン 放課後等デイサービス ふいーる	放課後等デイサービス	緊急事態宣言発令により中止	-
3	県立湘南養護学校	特別支援学校	〃	-

(ウ) 実践事例集の作成

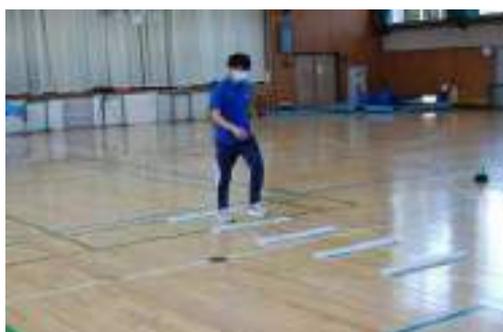
訪問支援においてニーズの高かった以下の取り組み例について動画及びテキストによる事例集としてまとめた。事例集は、県のYouTube及びホームページで閲覧できるようになった。

(事例)

- 1 ななさわ体操（椅子を使ったストレッチ体操）
- 2 簡単ボッチャ
 - (1) ターゲットボッチャ
 - (2) ベースボールボッチャ
 - (3) ボッチャボールの手作り
- 3 風船を使ったシッティングバレーボール
- 4 テーブルで行う卓球バレー
- 5 新聞紙でフライングディスク
- 6 室内でできる運動プログラム ～手作り用具と活用方法～
 - (1) ダンベル体操
 - (2) エア縄跳び
 - (3) 手型・足型の活用
 - (4) 平均台・ハードル
 - (5) 各種運動を組み合わせたサーキット

(エ) アンケートの実施

15施設に配布し、回答数は4施設であった。アンケートの結果では、個別の利用者を診て用具も含めた適切な運動支援、身体機能評価とリクリエーションを求めるニーズが高いことがわかった。各施設では積極的に身体機能の向上と運動を取り入れようと努力しているが、医学的な評価や第三者的な評価を受ける機会が少なく、その方向性が合っているのか不安がある。当院のような機関からの評価を受け、安心して支援を進めたいという気持ちが大きいことが明らかになった。



4 地域リハビリテーション支援センター事業

地域リハビリテーション支援センターは、地域における障害者・高齢者等へ適切なリハビリテーションサービスを円滑に提供するための業務を全県的な立場で行っている。地域支援室では、リハビリテーション専門研修、地域リハビリテーション支援に関連する活動、県委託事業である神奈川県リハビリテーション支援センター事業を行っている。県委託事業に関してはリハビリテーション情報の提供、人材育成、関係機関の連携を推進する業務を行っている。また、高次脳機能障害支援室では「高次脳機能障害支援普及事業」の神奈川県内の支援拠点機関として支援コーディネーターと心理判定員が配置されており、高次脳機能障害者への相談支援、普及啓発活動、研修事業等を行っている。

(1) リハビリテーション専門研修

医療・保健・福祉・介護専門職を対象とした研修で、令和2年度は次の表のとおり当初24コースの研修を計画していた。しかし、新型コロナウイルス（COVID19）感染防止のため、視覚研修を除き対面での研修は中止し、一部講義形式の研修はオンラインに変更して実施した。最終的な実施研修は8コースであった。受講者延数は、外部受講者194名、事業団職員14名で総受講者延数は208名であった。

研修アンケートでの4段階評価の平均は3.77点であった。なお、下の表は、県からの委託事業による研修を除いた集計である。

NO	研修名	開催予定	開催日	定員	開催方法	外部 受講者数	内部 受講者数	総受講者 延数	評価 (4点)
1	摂食嚥下障害のリハビリテーションの実際	6月2日(火)	11月3日(火)	24名	オンライン	17名	5名	22名	3.90
2	セラピストのためのハンドリング入門	6月13日(土)	中止						
3	脳血管障害の評価と治療	6月20日(土)	中止						
4	脊髄損傷のリハビリテーションの実際 入門編	7月1日(水)	中止						
5	高次脳機能障害セミナー 小児編	7月4日(土)	12月6日(日)	30名	オンライン	16名	1名	17名	3.80
6	PT・OTのための土曜教室 (月1回開催 全5回)	7月~11月(土)	中止						
7	知的障害の方の身体機能低下への対応	7月21日(火)	中止						
8	かながわりハビリテーション・ケアフォーラム	8月1日(土)	中止						
9	高次脳機能障害セミナー 理解編	8月23日(日)	中止						
10	視覚障害のある方への支援	9月1日(火)	9月1日(火)	20名	対面	6名	0名	6名	4.00
11	住宅改造・改修セミナー	9月19日(土)	9月19日(土)	30名	オンライン	13名	0名	13名	3.60
12	からだにやさしい介助入門1 基礎編	9月30日(水)	中止						
13	からだにやさしい介助入門2 姿勢編	10月6日(火)							
14	からだにやさしい介助入門3 移動編	10月13日(火)							
15	からだにやさしい介助入門4 ADL編	10月20日(火)							
16	排泄ケアの知識と実践	10月28日(水)							
17	褥瘡予防セミナー	11月17日(火)	11月17日(火)	24名	オンライン	44名	1名	45名	3.70
18	通信機器を利用した環境支援の実際	11月21日(土)	中止						
19	PT・OTのための臨床動作分析	12月5日(土)	中止						
20	高次脳機能障害セミナー 実務編	12月19日(土)	12月19日(土)	40名	オンライン	35名	5名	40名	3.55
21	下肢切断者に対するリハビリテーションの実際	2021年 1月23日(土)	中止						
22	車椅子シーティングの理論と実際	1月30日(土)	2月23日(土)	20名	オンライン	37名	1名	38名	3.60
23	高次脳機能障害セミナー 就労支援編	2月6日(日)	2月6日(日)	40名	オンライン	26名	1名	27名	4.00
24	脳血管障害のリハビリテーションの実際 下肢装具編	2月13日(土)	中止						
合計			開催回数 8回	228名		194名	14名	208名	3.77

注：コロナ感染予防のため、一部中止、開催日の延期、受講者数の変更を行った。(網かけは中止)

(2) 地域リハビリテーション支援関連活動

ア 「かながわ地域リハビリテーション支援連絡会」 政令市のリハセンターとの連絡会

平成 24 年度より横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンター、れいんぼう川崎、川崎市中部リハビリテーションセンター、相模原市障害者更生相談所と情報交換等を目的に連絡会を開催している。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、オンラインで実施した。開催日とテーマは以下のとおりであった。

日時	開催形式	テーマ
令和 3 年 2 月 24 日	オンライン	コロナ禍での地域の関わり方

イ 地域医療介護連携会議等への参加

(ア) 「神奈川県小児等在宅医療推進会議」(1 回)、「横須賀地域小児在宅医療連絡会」(2 回)

在宅療養を行う医療依存度の高い小児に対して医療福祉教育等の関係機関が連携し小児の在宅医療を支える体制を図ることを目的とした推進会議、および横須賀市における実務担当者会議に出席した。県小児等在宅医療推進会議は神奈川リハセンターより小児科医、地域リハ支援センター所長、横須賀地域小児在宅医療連絡会には当地域リハ支援センターのソーシャルワーカーが出席した。

(イ) 「自立支援協議会」(県、保健福祉圏域、市町村)

- ・神奈川県障害者自立支援協議会 2 回
- ・神奈川県障害保健福祉圏域事業調整会議 3 回

ウ 保健福祉事務所への難病患者支援研修等の協力

県内の保健福祉事務所に対し難病支援に関する会議や研修会等に協力しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため全て中止となった。

(3) 神奈川県リハビリテーション支援センター事業 (県委託事業)

ア リハビリテーションの相談対応・情報提供

1) リハビリテーション専門相談

リハビリテーション専門相談は、リハビリテーションを必要とする高齢者・障害者が住みなれた地域で自立した生活が送れるよう、当支援センターの専門スタッフが市町村及び地域のリハ関係機関と協働して総合相談・情報提供・技術支援などの支援活動を実施するものである。目的は課題の解決のみならず、相談事例を通して医療・介護・福祉の連携を図ることで、地域の状況に応じたリハシステムの構築を目指す。地域の支援者との協働は地域におけるリハに関する相談や調整を行うリハコーディネーターの人材育成にも関与するものである。相談支援の活動では制度間の枠を超えた多職種・多機関による包括的アプローチを行うことで、地域にあるリハ資源を積極的に活用し、自立支援の観点をもとにしたケアプランや個別支援計画の作成などに寄与する。

特徴として、新型コロナウイルス感染症の拡大の防止による相談に対する訪問回数の減少が挙げられる、オンラインによる相談を試みるなど、現状に合わせ相談手段を試みているところである。

相談対応件数	件数
電話	100
訪問	36
来所 面接	4
メール・その他	5
合計	145

障害別相談件数	件数	構成比
神経・筋疾患	49	34%
知的障害	30	21%
脊髄損傷	18	12%
脳血管障害	15	10%
後天性脳損傷(除くCVA)	7	5%
骨関節疾患	4	3%
脳性麻痺	2	1%
脊髄疾患	1	1%
内部疾患	0	0%
その他(切断・加齢等)	17	12%
不明	2	1%
合計	145	100%

保健福祉圏域別相談件数	件数	構成比
県央	71	49%
湘南西部	26	18%
県西	17	12%
湘南東部	12	8%
横須賀・三浦	9	6%
県外	5	3%
横浜市	4	3%
川崎市	1	1%
相模原市	0	0%
合計	145	100%

相談依頼元別相談件数	件数	構成比
障害者施設	34	23%
訪問看護事業所	25	17%
居宅介護支援事業所	23	16%
本人家族	22	15%
障害者相談事業所	16	11%
高齢者施設	6	4%
市町村	4	3%
保健福祉事務所	3	2%
病院	3	2%
地域包括	2	1%
訪問介護事業所	1	1%
教育機関	1	1%
障害者更生相談所	0	0%
その他	5	3%
合計	145	100%

2) 情報提供

ホームページ上で県内のリハビリテーション関係機関情報、リハビリテーション専門研修の開催案内及び募集や、当支援センターで行っている事業の情報発信を目的に広報誌「地域リハビリテーション支援センターだより」を掲載し、広く情報の提供に努めている。「地域リハビリテーション支援センターだより」にはA3版両面で、研修や専門相談の事例紹介などを掲載した。令和2年度のホームページへのアクセス総数は37,395件であった。

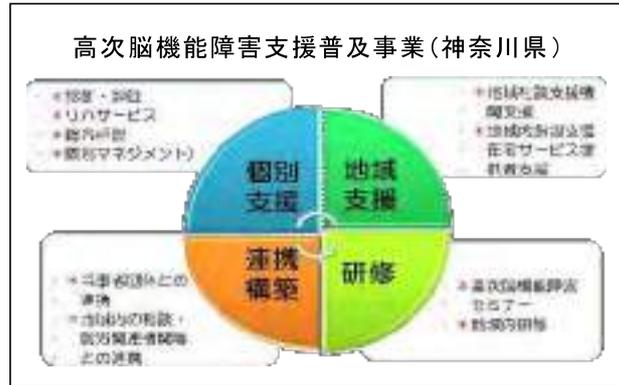
3) かながわりハビリテーション・ケアフォーラム

令和元年度に2回の延期を余儀なくされ、令和2年8月1日に改めて同テーマで計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。これにより同テーマでの企画を終了とした。

イ リハビリテーション従事者、利用者やその家族を対象とした研修
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

(4) 高次脳機能障害支援普及事業

障害者総合支援法に基づく支援拠点機関として高次脳機能障害支援普及事業を行っている。拠点機関の支援内容の概要として、地域リハビリテーション支援センターでは、高次脳機能障害相談支援コーディネーターを3名配置し、個別支援、地域支援、研修、地域連携を柱とした事業を実施している。



ア 相談支援

1) 個別支援の状況

相談依頼元の相談件数(重複)

区分	件数	構成比
本人・家族	66	35.8%
医療機関(外来含)	67	36.3%
地域相談窓口	28	15.1%
障害者施設	3	1.6%
市町村	6	3.2%
介護保険関係機関	6	3.2%
家族会	3	1.6%
その他	6	3.2%
合計	185	100.0%

相談内容別の相談件数(重複)

区分	件数	構成比
経済・制度利用	462	11.4%
生活課題への対応	998	24.5%
家族支援	486	12.0%
就労・教育等	600	14.8%
福祉サービス・社会資源	369	9.1%
リハ訓練(通プロ含)	296	7.3%
医療	11	0.3%
補装具	0	0.0%
福祉機器・用具	1	0.0%
医療機関紹介	815	20.1%
看護・介護方法	2	0.0%
住宅改修	19	0.5%
合計	4059	100.0%

障害別の相談件数

区分	件数	構成比
脳卒中	69	37.3%
成人外傷性脳損傷	70	37.9%
小児脳損傷	0	0.0%
神経難病	10	5.4%
脊損・頸損	0	0.0%
骨・関節疾患	0	0.0%
不明	1	0.5%
その他(低酸素脳症等)	35	18.9%
合計	185	100.0%

相談に対する保健福祉圏域別の件数

区分	件数	構成比
横浜	67	15.0%
川崎	16	3.6%
相模原	42	9.4%
県央	88	19.8%
横三	35	7.8%
湘南東	65	14.6%
県西	25	5.6%
湘南西	59	13.2%
県外	49	11.0%
不明	0	0.0%
合計	446	100.0%

2) 巡回相談事業

- ① 相模原（プラスかわせみ）：第1土曜日 10時から12時（当事者会・家族会）
- ② 藤沢（チャレンジⅡ）：第3水曜日 13時から14時30分家族会
- ③ 小田原（おだわら障がい者総合相談センター）：第1金曜日 14時から15時30分
- ④ 大和（大和市障害者自立支援センター）：第3水曜日 14時から16時
- ⑤ 伊勢原（ふくじゅ）：第2金曜日 13時30分から15時30分
- ⑥ ナナの会 就労を考える会（スペースナナ）：年2回土曜日

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大和は通年で中止、相模原は4-6月中止、藤沢・小田原・伊勢原は4-6月・1-3月中止、ナナの会は第2回目中止となった

イ 普及・啓発

1) 研修会の開催

研修名	対象者	開催日	開催場所
高次脳機能障害セミナー (理解編)	限定無し	中止	県総合医療会館

2) 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

高次脳機能障害者に関する地域支援ネットワークの充実を図るため、神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会を開催した。

・日時等：令和3年2月3日（水）15:00～17:00 オンライン開催

（委員会の構成員）

区 分	所 属
学識経験者	関東学院大学 社会学部現代社会学科
県の機関	健康医療局保健医療部県立病院課、福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課 精神保健福祉センター、総合療育相談センター
国の機関	障害者職業センター
横浜市	横浜市総合リハビリテーションセンター
川崎市	高次脳機能障害地域活動支援センター
相模原市	高齢・障害者福祉課 障害福祉班
当事者団体	NPO 法人脳外傷友の会ナナ
職域団体	医療ソーシャルワーカー協会、かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワ ーク
サービス提供事業所	愛名やまゆり園
リハセンター	地域リハビリテーション支援センター所長ほか2名
計	17名

ウ 研修関係事業

1) 研修会の開催

実施なし

2) 県内研修会への講師派遣

- a. 令和3年1月27日 神奈川県障害者職業センター職員研修

研修名	対象者	開催日	開催場所
高次脳機能障害セミナー (小児編)	医療・福祉・職業・行政等の分野で 障害福祉にかかわっている者	12月6日(日)	オンライン開催
高次脳機能障害セミナー (実務編)	医療・福祉・職業・行政等の分野で 障害福祉にかかわっている者	12月19日(土)	オンライン開催
高次脳機能障害セミナー (就労支援編)	MSW, P SW, 相談支援従事者、 ハローワーク等の職員	2月6日(土)	オンライン開催

3) 事例検討会

- a. 令和2年10月27日 チャレンジⅡ：参加者23名（社会福祉士7名、ケアマネジャー6名、障害福祉施設職員4名、介護福祉士2名、言語聴覚士1名）、精神保健福祉士1名、相談支援専門員1名、その他1名
- b. 令和2年12月1日 相模原市高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会（オンライン事例検討会）：参加者：31名
- c. 令和3年2月9日 相模原市高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会（オンライン事例検討会）：参加者29名
- d. 令和3年2月19日 チャレンジⅡ：参加者34名
- e. 令和3年3月10日 オンライン事例検討会：参加者7名（MSW4名、相談員1名、臨床心理士1名、理学療法士1名）

4) ネットワーク育成事業：高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会

- ①第1回 高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会
 - ・日時：令和2年7月16日（金）10時から12時
 - ・場所：オンライン開催
- ②第2回 高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会
 - ・日時：令和3年2月2日（金）15時から17時
 - ・場所：オンライン開催

エ 国との連携：全国高次脳機能障害相談支援コーディネーター会議

- ①令和2年7月17日：オンライン開催
- ②令和3年2月26日：オンライン開催

オ その他の関連事業

1) 連携構築

①政令指定都市との連携

政令指定都市在住者への支援が多いことなど政令指定都市内の中心的機関との連携支援の必要性が高い状況にある。そのため、横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンター、川崎市中部リハビリテーションセンター、れいんぼう川崎、川崎市障害者更生相談所南部地域支援室、高次脳機能障害地域活動センター及び相模原市障害政策課、かわせみ会と定期的な情報交換会を実施した。

開催日	開催場所	参加機関
7月28日(火)	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市総合リハセンター (コーディネーター) 川崎市北部リハセンター (SW) 川崎市中部リハセンター (SW、心理、行政)
1月19日(火)	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> れいんぼう川崎 (SW) 更生相談所南部地域支援室 (ST、行政) 高次脳機能障害地域活動支援センター (SW) 相模原市高齢・障害者福祉課障害福祉班 神奈川県総合リハセンター (コーディネーター) 神奈川県障害福祉課

② 自立支援協議会との連携

高次脳機能障害者支援の広域的・専門的相談支援機関として圏域事業調整会議および障害保健福祉圏域自立支援協議会へ参加している。

○ 障害保健福祉圏域事業調整会議

日時	場所	内容
11/13	アミュー厚木	各圏域ナビからの事業実施状況報告 県障害福祉課および専門機関より情報提供

○ 障害福祉圏域・地域自立支援協議会

日時	場所	内容
10/30	県西 (オンライン)	圏域ネットワーク形成事業の実施報告
2/17	湘南西 (オンライン)	各市町村自立支援協議会の実施状況
3/22	県西 (オンライン: 書面参加)	地域課題の報告及び意見交換等
※左記以外の圏域自立支援協議会は書面会議で実施された		

③ 当事者団体との連携

NPO 法人脳外傷友の会「ナナ」の協力を得て神奈川県リハビリテーション病院内の協働事業室にて入院・外来利用者などを対象にピアサポート支援や本人の活動支援を行い、必要に応じて地域リハビリテーション支援センターと連携した研修や個別支援を行っている。

5 厚木看護専門学校事業

昭和43年4月に厚木准看護婦学校として開校以来、令和3年3月で53年が経過した。「人間らしく共に生きるために」という社会福祉の理念に基づき、ヒューマニズムの精神を建学の理念としている。神奈川県内、特に県央地区で働く看護師の育成を図り、開校以来4,252人の卒業生を送り出している。

令和2年度は、看護第一学科（第39回生）86人が入学した。本年3月には、医療専門課程である看護第一学科（第37回生）75人、看護第二学科（第47回生）30人、合計105人が卒業し、「専門士（医療専門課程）」の称号を付与した。また、2月に実施された看護師国家試験に105人全員が合格した。

なお、令和2年度卒業生の就職及び進学状況は、看護第一学科は県内医療機関への就職74人、助産師課程への進学1人、看護第二学科は県内医療機関への就職29人である。

令和3年度の学生の応募状況は、看護第一学科（定員80人）208人であった。応募倍率は2.6倍となっている。看護第二学科は令和3年3月末をもって廃止となり、看護第一学科が単一となるため、新年度から看護学科と名称変更した。令和3年4月には、看護学科（第40回生）86人が入学した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置として、5月末日までオンライン授業を実施し、6月から登校を一部再開、9月から登校を全面再開した。また臨地実習は、全体の1/3程度が学内実習に変更となった。

(1) 在籍者の状況（令和3年3月31日現在）

（単位 人）

区 分		年 度 当 初 在 籍 者 数	年 度 内 の 移 動		年 度 末 在 籍 者 数
学科	学年（定員）		中途入学者数	中途退学者数	
看護第一学科	1年（80）	< 1 > 87	0	0	87（2）
	2年（80）	< 5 > 86	0	3	83（4）
	3年（80）	< 1 > 77	0	0	77（1）
	計（240）	< 7 > 250	0	3	247（7）
看護第二学科	1年（40）	< 0 > 0	0	0	0（0）
	2年（40）	< 0 > 0	0	0	0（0）
	3年（40）	< 0 > 30	0	0	30（0）
	計（120）	< 0 > 30	0	0	30（0）

注 年度当初在籍者数の< >書きは、留年者数で内書きとする。

注 年度末在籍者数の（ ）書きは、年度末退学者数で内書きとする。

(2) 卒業生の就職等の状況 (単位 人)

区 分	卒 業 者 数	就 職 者 数			進 学 者 数	その他
		総数	県内	うち事業団		
			県外	-		
看護第一学科	75	74	74	21	1	0
			0	-		
看護第二学科	30	30	29	3	0	0
			1	-		

(3) 応募者の状況

ア 看護第一学科 (3年課程・全日制)

(単位 人)

区 分	応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数	応 募 倍 率	合格 率 (%)	入学 率 (%)	卒 業 者 数	国家試験 合格者数	国家試験 合格率 (%)
37 回 生 (H30年度入学)	188	174	98	84	2.4	56.3	85.7	75	75	100.0
38 回 生 (R1年度入学)	190	177	91	85	2.4	51.4	93.4	-	-	-
39 回 生 (R2年度入学)	204	190	93	86	2.6	48.9	92.5	-	-	-
40 回 生 (R3年度入学)	208	194	87	86	2.6	44.8	98.9	-	-	-

イ 看護第二学科 (2年課程・定時制)

(単位 人)

区 分	応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数	応 募 倍 率	合格 率 (%)	入学 率 (%)	卒 業 者 数	国家試験 合格者数	国家試験 合格率 (%)
47 回 生 (H30年度入学)	46	42	32	30	1.2	76.2	93.8	30	30	100.0
(R1年度は募集停止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(R2年度は募集停止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6 地域の保健・医療・福祉への支援事業

本事業は、センターの持つリハビリテーションの専門機能を地域の関係機関、関係施設等に提供し、センターと各関係機関及び各施設等が相互に連携を図りながら、地域の保健・医療・福祉の向上を目指している。令和2年度は、地域への派遣件数117件、派遣延人数が193人で、実習等の受入は56件、受入延人数は2,697人であった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による縮小や中止があった。また、Zoom等Webを利用したオンラインでの研修・会議の参加が大幅に増えている。

区 分	事業分類	事業内容	実 績
I 地域保健・医療・福祉事業への支援	1 医学的判定・医学的指導への支援	(1)医学的判定支援 (2)身体障害者巡回相談	伊勢原市 小児科1人 なし 1件 延6人派遣
	2 医療・訓練事業への支援	医療・訓練協力	なし
II 研修事業等	1 研修事業への協力（外部機関の専門職員研修会に講師派遣）	(1)医療関係職員研修	東京慈恵会医科大学附属病院 他9件 実10人 延11人
		(2)福祉関係職員研修	医療法人秦和会秦野病院 実3人 延3人 他2件 延3人
		(3)教育関係職員研修	なし
		(4)労働関係者	公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会 実1人 延1人
		(5)各種相談員・ホームヘルパー・ボランティア等研修	株式会社アイシマ 実6人 延6人 他5件 延6人
		(6)障害者・介護者（家族）研修	神奈川県立こども医療センター 実3人 延5人 他1件 延5人
		(7)一般住民	公益財団法人がんの子供を守る会 実4人 延4人 他3件 延4人
		(8)その他	なし

区 分	事業分類	事業内容	実 績
II 研修事業等	2 専門職員養成事業等への支援	(1) 学生臨床実習受入	(福祉部門) 神奈川工科大学 実6人 延30人受入 (神奈川リハ病院) 積善会看護専門学校 他23校 実309人 延2,289人受入
		(2) 福祉施設等職員実習受入	明治学院大学 他30校 実36人 延378人
		(3) 各種人材養成研修派遣	第一三共株式会社 他25件 実31人 延42人
		(4) 非常勤講師派遣	横浜市立大学 他7校 実8人派遣
		(5) 医療関係者実習受け入れ	なし
III 障害者福祉行事等への支援	1 障害者スポーツ大会等への支援	身障者スポーツ大会への支援	神奈川県身体障害者連合会 他17件 実26人 延50人派遣
IV 各種団体運営等への支援	1 各種団体運営等への支援	(1) 国、県、市町村等の公的機関への支援	清川村 他16件 実20人 延24人派遣
		(2) 民間団体等への支援	特定非営利活動法人日本せきずい基金 他16件 実19人 延22人派遣
V 調査研究事業等への支援	1 調査研究事業等への支援	調査研究事業等への支援	公益財団法人 テクノエイド協会 実1人 延1人派遣
	2 各種委員会への支援	各種委員会への支援	厚木市地域包括ケア推進会議 他2件 実3人 延10人派遣

7 職員確保対策事業

令和2年度の職員確保対策については、所属、職種ごとに補充対象を検討し、求人活動を行った。採用者59人の職種別内訳では、看護職員が最も多く30人（50.8%）となっている。

医師の確保については、大学医局との連携強化を模索するとともに、採用が困難な診療科医師を民間の紹介業者を活用し確保を行った。また、看護職員の確保については、年間を通して適正な医療サービスの提供ができるよう、退職者の補充に加え出産休暇、育児休業等で勤務に就くことができない職員数を加味し、採用を行った。

今後も採用が困難な医師等の安定的な確保に力を注いでいく考えである。

(1) 職員充足状況

(単位 人)

区分		職種別	総数	職種別内訳					
				医師	看護職員	理学療法士	作業療法士	指導員	その他の職員
定員			658	44	221	51	38	148	156
現員	正	令和元年度末現在人員	632	35	249	52	35	136	125
		令和2年3月31日退職	(46)	(6)	(21)	(1)	(1)	(7)	(10)
		令和2年度採用	59	11	30	2	1	10	5
		令和2年度退職	21	4	11	0	2	2	2
	規	職種変更	0	0	1	0	0	0	▲1
		令和2年度末現在人員	624	36	248	53	33	137	117
		令和3年3月31日退職	(58)	(11)	(20)	(3)	(3)	(13)	(8)
	臨時	令和2年度末現在人員	69	1	3	8	1	14	42
		計	693	37	251	61	34	151	159
	過不足数			35	▲7	30	10	▲4	3
充足率(%)			105.3	84.1	113.6	119.6	89.5	102.0	101.9

注 令和3年3月31日退職欄の()書きは、令和2年度末現在人員の内書きとする。

(2) 学資金等の貸付事業の状況

区分	学資金貸付 (厚木看護専門学校)		学資金貸付 (外部養成校)		計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
看護師	48人	39,900千円	2人	1,200千円	50人	41,100千円
福祉職	—	—	1	1,800	1	1,800

注 看護師に対する学資金等は厚木看護専門学校生は月額70千円、外部養成校学生は月額50千円の貸し付けである。

注 福祉職に対する学資金等は特別貸付金として、就業後に貸し付けを行うものである。

(3) こども園保育状況

(単位 人)

区分	3歳未満児	3歳以上児	合計
R1年度末在園児数	5人	6人	11人
R2年3月31日卒園・退園児数	▲4人	▲6人	▲10人
R2年4月1日クラス編成異動児数	0人	0人	0人
R2年度入園児数	4人	2人	6人
R2年度退園児数	▲2人	0人	▲2人
年度末在園児数	3人	2人	5人

8 職員福利厚生事業

令和2年度の状況は、次のとおりである。

(1) 職員宿舎入居状況

(令和3年3月31日現在)

区 分	宿舎名	内 容	戸または室数	入居数	入居率 (%)
単身者用宿舎	もえぎ寮	ワンルーム	45	32	71.1
単身者用宿舎	レオパレス等	ワンルーム	7	7	100.0
世帯者用宿舎	七沢アパート	3DK	48	19	39.6
合 計			100	58	58.0

(2) 健康診断実施状況

種 別	実 施 月	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率 (%)	要 補 検 者
一般定期健康診断					
定期健康診断	第1回 7月	732	720	98.4	318
特定業務従事者健康診断	第2回 1月	571	561	98.2	178
雇用時健康診断	雇用時	60	58	96.7	18
特別定期健康診断					
有機溶剤等取扱者検診	第1回 7月	1	1	100.0	0
	第2回 1月	1	1	100.0	0
電離放射線業務従事者検診	第1回 7月	20	17	85.0	6
	第2回 1月	20	20	100.0	7
被曝線量測定	年12回		468	-	0
臨時健康診断					
B型肝炎予防検診(抗原、抗体検査)	7月	対象全職種 40	40	100.0	-
	雇用時	中途採用者 0	0	-	-
B型肝炎予防ワクチン接種	第1回 8月	(希望者) 39	39	100.0	-
	第2回 9月	37	37	100.0	-
	第3回 1月	37	37	100.0	-
インフルエンザ予防ワクチン接種	11月	(希望者)	649	-	-
婦人科系検診(乳・子宮がん検診)	9月、10月	(希望者)	202	-	-
腹部超音波検診	1月	(希望者)	72	-	-
免疫4種抗体検査	7月	対象全職種 57	57	-	-
	雇用時	中途採用者 0	0	-	-
人間ドック					
事業団職員	10月～12月	(希望者)	78	-	-
一般衛生管理					
検 便	栄養士年24回		115	-	-

(3) 貸付事業の状況

区 分	人 員	貸 付 額	1 人 平 均
一 般 貸 付	1 人	350 千円	350 千円
特 別 貸 付	— 人	— 千円	—
計	1	350	350

9 経営計画に基づく取組状況

平成 28 年度からリハセンターの第二期指定管理期間が始まり、事業団は指定管理者として引き続き選定された。これを契機に、事業団は、平成 28 年 3 月にこれからの 10 年に向けリハセンターの役割・機能発揮と安定的な事業継続が図れるよう経営計画を策定した。

(1) 病院の取組状況

令和 2 年度は電子カルテシステム等の導入から一年が経過した。データの蓄積が徐々に進み入院患者の地域別分布図の作成が可能となるなど、経営分析につながるデータの活用が始まっている。引き続き安定的な運用に努力する。

また、令和元年度に新設した地域連携室は役割を拡げ、紹介元病院との連携強化を行ない、転院相談からできるだけ早く入院調整ができるよう体制を強化した。家族・患者の入院相談の受付、入院審査の迅速化を図るなどより良い利用者サービスの提供と利用率の向上に努め、収益拡大につながる患者確保の取り組みを行っている。

令和 2 年 12 月には手術用ロボット支援システムを導入した。安全で正確な手術の実施により利用者サービスの向上を図ると共に医療設備の充実による医師の人材確保へ繋げる取り組みである。重度の股関節症などに対応し、他院にはない取り組みによる差別化を引き続き図っていく。

新型コロナウイルス感染症の感染が依然として続く中、リハビリ訓練では、最大限の感染対策に留意した。

令和 2 年度は給与制度の見直しによる大幅な給与削減や感染症対策による負担増加など、医師・看護師・療法士等、病院職員にとって苦難の年であったが、患者へ提供する医療の質を維持するために、職員の努力により支えられた 1 年であった。

(2) 福祉施設の取組状況

福祉局全体の施設人所利用率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、短期入所及び通所利用を制限したことにより、利用率が 80% 台まで低下した。

家庭復帰率は、七沢学園児童については、家庭復帰が困難な利用者が障害者支援施設等に移行したため目標値の達成ができなかった。七沢学園成人については、生活訓練事業において地域移行を着実に支援することができ、目標を達成することができた。七沢自立支援ホームについては目標を達成でき、重度者の受入を積極的に行い自立した生活につなげるという施設の役割を果たすことができた。

利用者満足度は、施設内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、時節に応じて利用者に対し外泊・外出等の制限に協力を求めた結果、これら対策を必要と感じつつも不便である旨の意見が寄せられ、例年と比較し満足度の低下がみられた。利用者サービスについては概ね例年通りの結果となった。

■令和2年度事業計画の数値目標と実績

区分		令和2年度 目標①	令和2年度 実績②	差異 ②-①	令和元年度 実績③	差異 ②-③
学園 児童	家庭復帰率	80.0%	77.8%	▲ 2.2%	60.0%	17.8%
	強度行動障害者 (1日当たり受け入れ人数)	2人	1.0人	▲ 1.0人	1.0人	0.0人
	集中療育 (年間実利用者数)	8.5人	4.0人	▲ 4.5人	18.0人	▲ 14.0人
	1日平均利用者数	29.4人	26.3人	▲ 3.1人	28.0人	▲ 1.7人
	利用率	98.0%	87.5%	▲ 10.5%	93.5%	▲ 6.0%
学園 成人	家庭復帰率	60.0%	80.0%	20.0%	76.9%	3.1%
	医療重度障害者 (1日当たり受け入れ人数)	3.0人	5.0人	2.0人	5.0人	0.0人
	強度行動障害者 (1日当たり受け入れ人数)	6.0人	6.0人	0.0人	5.0人	1.0人
	1日平均利用者数	27.9人	29.5人	1.6人	27.0人	2.5人
	利用率	93.1%	98.4%	5.3%	90.0%	8.4%
学園	満足度	3.1点/4点	3.2点/4点	0.1点	3.4点	▲ 0.2点
療育園	超・準超重症児 (1日当たり受け入れ人数)	12.0人	13.0人	1.0人	13.2人	▲ 0.2人
	中期入所 (1日当たり受け入れ人数)	5.8人	4.0人	▲ 1.8人	2.3人	1.7人
	満足度	3.5点/4点	3.8点/4点	0.3点	3.9点/4点	▲ 0.1点
	1日平均利用者数	34.0人	35.0人	1.0人	35.9人	▲ 0.9人
	利用率	85.0%	89.8%	4.8%	92.0%	▲ 2.2%
自立支援 ホーム	家庭復帰率	91.0%	91.7%	0.7%	91.1%	0.6%
	満足度	3.0点/4点	3.5点/4点	0.5点	3.7点	▲ 0.2点
	1日平均利用者数	47.0人	36.7人	▲ 10.3人	42.4人	▲ 5.7人
	利用率	94.1%	73.4%	▲ 20.7%	84.9%	▲ 11.5%
神りハ 病院	家庭復帰率	81.0%	88.9%	7.9%	88.2%	0.7%
	年間手術件数	450件	323件	▲ 127件	358件	▲ 35件
	紹介件数	1000件	1030件	30件	1194件	▲ 164件
	逆紹介件数	1300件	1645件	345件	1583件	62件
	入院患者満足度	3.4点	3.6点	0.2点	3.6点	0.0点
	外来患者満足度		中止	0.1点	3.5点	-
	入院患者利用率	90.0%	76.5%	▲ 13.5%	83.6%	▲ 7.1%
	一日平均入院患者数	252.0人	214.3人	▲ 37.7人	234.2人	▲ 19.9人
	外来1日平均利用数	300.0人	187.0人	▲ 113.0人	226.9人	▲ 39.9人
	後発医薬品品目採用率	52.5%	50.3%	▲ 2.2%	48.2%	2.1%
厚木看護 専門学校	国家試験合格率					
	看護第一学科	100.0%	100.0%	0.0%	94.3%	5.7%
	看護第二学科	100.0%	100.0%	0.0%	92.3%	7.7%
	県内就職率					
	看護第一学科	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	看護第二学科	100.0%	96.7%	▲ 3.3%	100.0%	▲ 3.3%
	事業団への就職人数の目標					
	看護第一学科	28人	21人	▲ 7人	24人	▲ 3人
看護第二学科	2人	3人	1人	3人	0人	

事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人

神奈川県総合リハビリテーション事業団